

特定非営利活動法人

VOL.25

南国暮らしの会

2004 年 夏 季 号



平成 16 年 7 月 24 日



NPO 法人 南国暮らしの会

目 次

目次				1
理事長就任にあたり	No. 24	酒匂 景輝		2
理事長辞任の挨拶	No. 3	池田 徳三郎		4
平成16年度通常総会議事録				7
平成16年度事業計画書				8
平成16年度会計収支予算書				9
平成15年度会計収支計算書				10
平成15年度会計貸借対照表				11
パース、シドニー、ゴールドコースト各都市3ヶ月、 合計9ヶ月間、ホームステイして英語留学ーその1	No. 417	木内 登希晴		12
パース便り	No. 110	藤本 靖人		16
チェンマイ・・・その光と影	No. 558	伊沢 豊		20
タイ・シーラチャ	No. 80	阿部 功		24
フィリピンLS適地探しの旅	No. 652	深松 幸康・節子		28
バギオこそ ナンバーワン!	会 友	山田 勝也		32
「南の会碁(GO) ネット」立上げ日記	No. 700	安藤 公二郎		36
海外渡航先での病気について	No. 709	岡野 征夫		39
日本・マレーシア治療体験記	No. 302	末 英樹		42
奇祭マルディグラと西カリブ海				
クルージングの思い出	No. 644	平山 誠・浩子		45
ニュージーランドの旅	No. 40	平澤 信		48
雪が解けたら春に(ルート66を夢見て)	No. 740	渡辺 亜雄・洋子		52
支部・部会伝達版				54
編集後記				58



理事長就任にあたり

No. 24 酒匂 景輝

・ご挨拶

この度理事会の選任を得て総会にて信任され理事長の重責を任せられました。何分前理事長が大きな方でしたので、私はその様な器ではありません。が、この会はボランティア精神のないことには存続しない団体です。素晴らしい人材は多いのですが、なかなか自分から汗を流そうと言う方は少ないのが現状です。そこで私のような者でもこの重責をこなす事が出来れば、酒匂が出来ることなら、自分ならまだましな事が出来る筈と、奮ってこの会の役員を引き受けて下さるよう、その捨石のつもりで引き受けました。



私も引き受けた以上、出来る範囲で、この会に所属して楽しい世界を見い出せたと、会員の皆さんに満足して頂けるよう務める所存です。皆様方の暖かなご支援とご協力を頂ければ幸いです。

・会の名称と理念について

私はこの会の名称「南国暮らしの会」は素晴らしいものだと自画自賛しております。と言うのはこの名称を読み上げるだけで、どのような事をするのか、又 理念（理念は謳っていませんが）を持った会であるかが一目瞭然です。我々日本人が南の国でボランティア等しながら暮らそうと言うことです。

・将来展望

将来首都圏に事務所を開設し、次のような事業展開が出来ないか、今後検討したい。

本展望では、事務所が先になり主客転倒している感がありますが、下記の事業を行うには事務所は必須条件です。この事項は理事会、総会の承認を得てからの事になります。

・理由

事務所の必要性は会発足当時より痛感している事で、現在担当理事宅を夫々の事務所代わりに利用させて貰っています。会員数が増えるに従い、事務量も多くなり同一業務を分割するなどして急場凌ぎをしています。その為に事務は

煩雑に成るばかりです。一名程度専従者（パートで電話番号や資料の送、受）を置き、理事が交代で詰めるようにして行きたいものです。

・事業展開

- 1) 正会員数を1,000名以上にする。
- 2) 収益事業を行う。

① 南の会関係図書出版：会員の協力で図書編纂を行い、全国に有料販売を行う。この場合情報等の著作権問題が発生します。まず著作権は会の帰属にするよう会則の確立も必要です。

② 縁結び相談（ルームメイト、茶飲み友達等々）近年独身の女性、男性が入会され、懇親会などでの会話に次の様な話を時々聞くようになりました。同じ目標を持っている日本人と結婚とまでは行かなくて自由な立場での伴侶が一緒だと、安心して外国に行けるのではないだろうか。

私は南国で若い人と楽しく暮らす方が前向きで良いと思うのですが、異国人には抵抗があるとの意向があります。会員の仲間が幸せになる事であれば、皆が祝福してあげる環境づくりも必要です。現在の法では、女性の遺族年金受給者は入籍しないと夫々年金が受給出来ません。

③ 海外に介護施設の開設啓蒙、現状の日本での介護には多くの問題があります。東南アジアの現状は、人件費が安く、家族制度がいまだに残っていて、高齢者に優しい。日本にその様な人材を移入してきては、日本のベースで人件費など考慮する必要があります。海外の医療機関でもその様な考えを持っている機関があります。

しかし現在のビザは、健康な人と言うくだけがあり、少しハードルは高いが医療関係者の仲でも政府高官と太い繋がりを持っている人が多いので、需要と供給のバランスさえ取れば不可能な事は無いと思います。

3) 遠隔地の支部組織を路線ごとに改組し、日帰りで懇親会まで出来るような支部組織になれば遠隔地でも手軽に年数回の会合が出来、情報の公平化、会員増などにも繋がると思います。

4) 経済的な理由で昨年 8,000 人の方が自ら命を絶っております。この方々の1割でも、南の会の様な仲間の居る事を知り、気持ちの切り替えをして前向きになって貰えると本会の目的も一部達成されると言うものです。マスメディアでの協力を得て呼びかけて行きたいと思います。

・会のサロン／懇親会は情報の宝庫

現在、関東支部と東海支部では毎月サロン・懇親会を第2土曜か日曜日に開催しております。東海支部ではウイークエンドだけの開催では出席出来ない方に情報が不足すると言うことで、ウイークデーのサロン・懇親会も開かれる盛況ぶりです。現在関西支部でもその機運が高まっているようです。

これは皆さんが何を求めているのかを考えさせられます。活字等での情報は突っ込んだ情報が得られない。前向きな仲間との懇談は「笑い」(NK細胞培養効果もある。)が絶えない素晴らしい人間関係が出来ています。サロン・懇親会が内外での暖かな寄港地的存在に発展する事を切望します。

・平成の錬金術を学ぶ

私は同窓会等で南の会の話をしてくれと、頼まれるとまず話すことは南の会は錬金術を勉強していると話します。なんで?と言うことになり、我々の受給している年金は日本では凄い問題(多いの少ないの将来はどのと)になっているが、その年金が南国で使うと数倍の価値で楽しく、暖かな所で暮らせる事は確実である。が、いずれの場所が自分の好みに合っているのか見極めるための会、集いである。

パスツールの言葉に「偶然は準備ある者にのみ恵む」と言う言葉があります。我々会員は常にその準備を怠らず、その偶然を掴むことが出来る人々だと信じております。

・一億二千万分の八百

本会の会員数は家族会員を含め、約八百人そこそこです。日本人が外国に暮らしだすと何だか物議を醸しだしているようです。0.0007%の確率で出会った前向きな仲間の集いではありませんか。

個性の強いのは(世間から見ると、この程度しか南国暮らし思考者が居ないと云う事は変人の集いなのでしょう。《私は決してそうは思いません。前向きで時代を先取りした方々の集いだと自負しています。》)お互いさまです。人に非礼な事、陰口など言ったらそれは何倍かになってその人に戻ってきます。

私は、この地球上の悪人は我々人類だと思っております。あらゆる生物を料理して食べ

ないと生息出来ない哀れな生き物です。これを思うと何が善で、何が悪なのか、この世には善人など居ないと思ようになり、善、悪の区分けなど必要ないような気がしています。

・恩は返すもので、売るものではない

人に世話を掛けたら恩を返す。受けた恩はなかなか返し切れないものです。が、その分はこれからの後輩にして欲しい。又世話をした人は恩を売っては駄目です。(世話をした事を口外しない。)折角親切(真心をこめて、相手の身になって考え行動してやる。【広辞林】)にしてやった行為が無になります。親切に世話をした人も過去に先輩からその様な恩を受けている筈です。この様な事は粛々と行われるべき事柄です。私自身満足には出来ていないので、後輩に返していければと思います。

・パソコンで声での会話普及を

近年インターネット電話が普及し、Eメールなどでの一方通行の対話ではなく、MSN Messengerによる会話が普及しつつあります。これはマイク、スピーカー付きのパソコンならば、格安の通話料金で電話と同じような会話が出来ます。これは外国に出向いても接続出来、メーリングリストやチャットに代わり多くの人々と会話が出来ると言う代物です。インターネット委員会で研究してもらい実現したいと考えております。但しEメールは相手が居なくても送信でき、証拠が残る利点があります。

私は、以前Eメールの一方通行の問い掛けや提起は、怖いというような事を会報に掲載した事があります。過日の佐世保での痛ましい事件発生報道を聞くと改めてこれを痛感します。

インターネット委員会でメーリングリストの管理をしているとは云え、夫々のメールをチェック出来る筈は無く、又メールのチェックをすると検閲になり物議を醸す原因になります。

今回、私の言いたいことを、下記の有名人、お二人が名文を新聞に寄稿していましたので、添付資料として同封しました。一読して下さいと幸いです。

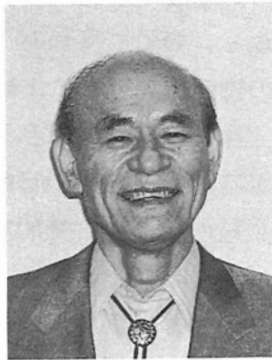
*曾野 綾子氏:年金問題・損得より「受けた恩は返す」

*阿久 悠氏:「おぞましい言葉は まず手書きにする その醜悪さに驚くから」皆様のご健康とご多幸を祈念して。

理事長 辞任の挨拶

前理事長 池田 徳三郎

総会も会員の多くの皆様のご協力により無事終わることができましたこと改めて厚く御礼申し上げます。会報担当者からのご依頼がありましたので、御礼の挨拶をさせていただきます。



この度、理事長の辞任の申し出を理事会の暖かいご理解で、認めて頂きましたことに感謝いたしております。

NPOの申請以来、会長（海外在住）代理の理事長（NPO法人設立総会11年5月15日）を6ヶ月。NPO法人認証後の第1回臨時総会（同年11月11月）の開催時、ご承認の新定款による理事長に選任され、それ以降今年の総会まで4年6ヶ月間、会員・役員の皆様の真摯で前向きなご尽力により、何とか勤めることができましたこと御礼の言葉もありません。誠に有難うございました。

酒匂理事長のご選任を祝し

今後は定款の定める通り、会を代表し、その業務を総理する酒匂理事長、理事長を補佐する両副理事長を軸に、そして多くの支部会員のご意見のもと、多くの担当理事、役員のご協力により、組織の舵取りを上手に立派にして頂けるとご期待し、衷心より慶祝いたします。

酒匂理事長は会の発足以来、ご家族ぐるみで、会の発展のために並々でないご苦勞と奉仕をされてきました。当会にとって最も大切に欠かせない「会員の自発的奉仕」のご苦勞をずいずいと真に知り尽くされた高潔の人であり、気配りと思い遣りの厚い素晴らしいリーダーであります。

病気に遭遇することがなければ、早くに会を代表するシンボリックな方でありました。

NPO法人について

当会は「非営利活動法人推進法」に準拠するNPO法人であります。同法の第1条（目的）は、「この法律は・・・社会貢献活動として公益の増進に寄与することを目的とす

る」と明示され、また同法第2条第1項には、「NPO法人とは・・・不特定かつ多数のもの利益の増進に寄与することを目的とするものをいう」と定めております。

当会はこの法律により、定款などと共に認証されたNPO法人であります。

当会の社会的貢献

そして当会は「会員の自発的奉仕」と会員の会費により、今日まで支えられ、運営されてきました。

多くの海外会員等の自発的ご奉仕により貴重な情報の提供を頂き、そして多くの国内会員のご奉仕により、今までに膨大な情報を蓄積（会報・メール・各自の体験知識等で）しており、それを会員の大切な財産として共有しております。さらに蓄積した貴重な情報は、本、雑誌、新聞、TVの取材により、また講演、その他で広く公開してきました（残念ながら中には薔薇色情報のみで真の生活情報に欠ける取材もありました）。その結果、南の国々の情報を持たない多くの人々のために正しい情報を提供し、大いに役たち、社会に寄与してきました。今なお情報のない人々から多くの問い合わせを受けております



横井東海支部長の講演

紹介を受ける（左から）石原ペナン副支部長、横井支部長

朝日新聞社等主宰（名古屋 朝日ホールにて）「マレーシアロングステイセミナー」で（5月29日）

総会終了後の情報交換会での挨拶

総会の終了後、「理事長辞任の挨拶」の機会

(「会の現状と将来像」のテーマを頂戴して)を得ましたが、その時の挨拶をご出席できなかった会員の皆様にお伝えし、お礼と感謝に代えさせて戴きます。

＜会の現状と将来像＞

このテーマを頂戴した時は正直なところ些か驚愕し、大きな戸惑いを禁じ得ませんでした。

1. 会員数からみた現状と今後

現在の会員数は約500人弱です。

NPO法人の申請時(約130人)から1年後の12年3月末には会員数は187人に増加しました。その後3年間の新会員増加数は毎年平均111人であり、また退会者数も多く、増加傾向で推移しました。

15年度(16年3月末)の新会員は149人と過去の平均の34%増と急増し、そして退会者数の増加傾向に歯止めがかかり、退職者数は59人に減少し、差し引き90人の純増となりました。

(表1) 年度別会員数の推移

年度	13/3	14/3	15/3	16/3
会員数	294	352	384	474
退会者数	1	58	78	59
新会員数	108	116	110	149
純増	107	58	32	90

(出所)決算書より、毎会計年度末の数

上記の(表1)に窺える「現在までの推移」は多くの反省と改善を残しながら、今後の会の運営の指針となる1つの教唆であり、多くのことを呼びかけておきましょう。

2. 組織からみた現状と今後の夢

NPO法人は目的を同じくする会員の団体で、組織的活動をすることが大切です。しかも、横の関係の組織です(企業に見られる縦割り組織ではありません)。会員の自発的奉仕を前提としており、いわゆるボトムアップの組織で、沸き出ずる泉の如くに会員の盛り上がるパワーが必要です。

しかし、組織的に会の目的に向かうための方

向つけ、最小のルール、有限の資金のなかで、その時々で、何から優先して実施していくかその成果は等々を理事会・委員会で審議し、予算化し、会員に周知し、会員のご協力のもと経理の透明化とともに実施してまいりました。

今後の将来像は会員の皆様の1人1人の盛り上がるパワーを会の目的に収斂することでしょう。会員の少しの自発的奉仕が会全体として大きなパワーとなります。

この夢が実現できれば、会の組織的活動内容はさらに充実し、中身の濃い楽しい会になることでしょう。

A. 理事会等の組織と今後

会員の増加と共に総会に理事・監事等役員数の増加案を提出し、①理事は7人から15人、20人と、②監事も2人から3人と段階的に増加し、③理事の夫々の役割分担を定め、組織的により良く会の目的に向かうための活動を理事の協議により実施し、なお理事以外の会員が参加した④委員会を必要により設置し、ご協力と審議を得る等々①～④の組織の充実を共にしてきました。

今後とも会員の皆様は各種委員会等、また支部活動に卒先して参加して頂き、ご協力のほどを熱望して止みません。

某地方支部長が委員会に参加しました。今後は「会員参加による委員会の活動」がより重視されることになるでしょう。そして委員会の意見が会の諸活動を決める原動力になることでしょう。

B. 国内支部の組織化と華麗な今後の活動

当会にご加入の会員は皆いずれかの支部に所属し、支部の諸活動に参加し、支部の諸活動を支援(自発的奉仕)することとなります。

15年末までに総ての支部の組織(正副支部長、支部役員等)が凡そ整備され、支部長1人の支部活動はなくなりました。

支部の組織が整備され、最初の全国支部長会を16年5月29日に開催することでき、理事会と支部の関係について凡そのコンセンサスを得ることができ、さらに有意義な楽しい懇親会はお

一人も欠けることなく、全支部長と共に和気藹々のうち、時のたつのを忘れ過ぎることが出来ました。

新しい支部活動の時がきました。

今後の夢は、北から南まで会の共通の目的を持つ7つの支部活動が、支部の地域的特性にマッチした自主的活動を支部長・役員を中心に多くの困難を克服して展開していただき、それぞれの支部が特徴ある中身の充実した楽しい支部に飛躍しますよう祈念いたします。

そして、会員相互のコミュニケーションと親睦をより密にして、楽しく笑顔で前向きに多岐にわたる新しい支部活動として、益々華麗に花咲くことができると大いに期待いたし、夢を膨らませております。

以上が総会時の挨拶でありました。



関東支部の「楽しい英会話」の参加者(巣鴨会場)

海外支部の課題一次の機会に譲ります。

ここに、この機会をお与え頂きました会報担当者のご高配と大いなるご奉仕並びに関係者のご奉仕に対し厚く御礼申し上げます。

会員の皆様の前向きなスタンスとご健勝を祈念し、感謝の挨拶とさせていただきます。永い間誠に有難うございました。(了)

チェンマイを訪問される方へお願いします。

海外推進担当 No.163 宮崎 哲郎

この度前チェンマイ支部長の鈴木宣夫さんをご帰国されましたので5月より新支部長に558伊沢 豊さんにご就任頂きましたのでお知らせ

致します。以前からお伝えしてありますが、各国に居られる支部長さんは全くのボランティアで皆さんのお世話をしております。会からの報酬は一切有りませんので再度皆さんにお伝え致します。

各支部長さんは自分の楽しみのためにそこに滞在されており、善意とボランティア精神で会及び会員の方のため日々頑張ってもらっております。誠に有りがたい方々です。先ずこのことをご理解頂きたいと思っております。

過去にその気持ちが萎えてしまうような会員の方が居られたため、残念なことですがお止めになった支部長さんも多くいらっしゃいました。今後はこんなことが起こらないように皆さんのバックアップを頂きお互いハッピーになる様にして行きたい物です。

そのため事務局と伊沢支部長さんとお話して会員の方がチェンマイを訪問された時の為に下記取り決めを致しましたのでお知らせ致しますと共に皆さんのご協力を切にお願い申し上げます。

1. 支部長が自己所有の車両を使った対応はしない(事故発生の際の責任、補償問題が想定される為。これについてはペナン、KLも同じです)
2. 支部長は皆さんの為に電話連絡をしなければなりませんので訪問された方は携帯電話用プリペイドカードを支部長殿へ必ず差し上げて下さい。
このカードは携帯電話の販売店で購入できます。300、もしくは500パーツのカードをお願いします。もし訪問会員の滞在が長期の場合は自分で携帯電話を購入されることをお勧めします。
3. 支部長さんへの金品の授受はしないで下さい。特にこの点お守り下さい。

なをその他お出でになった時の為に2004年春季号56ページに「海外会員への心遣い」を載せておりますのでそれをご参考にして頂きお互い楽しい時間を過ごせる様心からお願い申し上げます。

特定非営利活動法人 南国暮らしの会 平成 16 年度通常総会議事録

日時 : 平成 16 年 5 月 30 日 (日) 10 時 30 分～11 時 50 分
場所 : 東京都大崎労政事務所・南部労政会館
出席者 : 242 名 (うち委任状 182 名)

司会の高澤理事は、最新の会員総数が 455 名であることから本日の通常総会が成立することを説明し、本法人定款第 2 5 条の規定により議長の選出について諮った。

議長を選出: 橋本 慧氏が選ばれて議長となり、開会を宣言し、議案の審議に入った。

議案

第一議案 平成 15 年度事業総括および決算報告について

池田理事長が同年度の事業報告書にもとづき詳細な事業報告をおこない、次いで同年度の収支計算書及び貸借対照表(事業報告書は本年度会報春季号に掲載、その他はいずれも通常総会資料として配布、以下同じ)にもとづき詳細な決算報告をおこなった。続いて富永監事から、同決算報告書は当会定款等にもとづき適切に運営され、いずれも正確である旨の報告がなされた。議長は同案について賛否を諮り、原案通り満場一致で承認された。

第二議案 平成 16 年度事業計画および予算(案)について

菊地理事が本年度の事業計画書および収支予算書案にもとづき詳細な説明をおこなった。議長は同案について賛否を諮り、原案通り満場一致で承認された。

第三議案 定款・細則一部変更について

酒匂副理事長が「南国暮らしの会定款一部変更案(理事の定員 15 名を 20 名に変更)並びに同細則一部変更案」にもとづき詳細な説明をおこなった。「相談役職」についての質問があり、特に当会の運営に有益な専門知識をお持ちの会員の方で、ご本人が就任を了解された方になっていただいていると返答し了解された。議長は同案について賛否を諮り、原案通り満場一致で承認された。

第四議案 監事任期満了に伴う新監事の選任について

議長は、定款 14 条第 1 項による新監事の選任について説明を求めた。池田理事長から役員の新候補届出が皆無であったので理事会において以下 3 名の新監事候補(内 1 名は再任監事)を推挙した経過等詳細な説明がなされた。議長は新監事候補の推挙についてその賛否を諮ったところ、推挙が了承され、満場一致で選任を決議した。3 名の新監事は就任を承諾した。

新任監事: 鈴木 剛、赤嶺良彦 再任監事: 斉藤 彰

第五議案 理事任期満了に伴う新理事の信任について

議長は、細則第 11 条による新理事の信任について説明を求めた。池田理事長から理事 3 名任期満了辞任に伴う新理事 3 名の承認及び残 12 名の再任を理事会において決議したこと等詳細な説明がなされた。議長は理事会で承認された新理事及び 12 名の再任理事についてその賛否を諮ったところ、理事選任について満場一致で承認をもって信任された。

新任理事: 島田栄一、高田勝弘、山本幹夫 再任理事: 池田徳三郎、酒匂景輝、宮寄哲郎、高澤弘晃、菊地功、龍野宏、市東明義、大野悦子、平尾守満、山田宏秀、細田良子、小林康紀。

第六議案 平成 16 年度理事業務分担紹介ほか

池田理事長が本日の理事会で酒匂理事長、宮寄・高澤副理事長、池田会長が選任されたことを報告、本件について議長が賛否を諮り、満場一致で信任された。引き続き酒匂新理事長が就任の挨拶後、平成 16 年度理事業務分担を配布資料に基いて説明し、本日出席の各役員を総会出席会員に紹介した。

議長は本日の総会における議案の総てが終了したことを告げ、議事録署名人に阿部功氏を指名し、諮ったところ、同氏が選任された。議長は議事の進行に関し出席者の協力を謝し、11 時 50 分に閉会を宣した。

平成 16 年 5 月 31 日

議事録署名人
議長

橋本 慧 

出席者

阿部 功 

平成16年度 事業計画書

(平成16年4月1日～平成17年3月31日)

特定非営利活動法人 南国暮らしの会

1. 事業の方針

(1) 新規事業

- ① NPO法人5周年記念行事を11月に実施することし、そのために記念行事委員会を設け、具体的内容を立案し、理事会で決定し、来賓・報道関係者等にも公開する。
- ② 南の国々の医療に関する調査研究の成果を出版し、一般に公開する。
- ③ 各支部内の近隣会員相互の連絡網を整備し、会員相互の情報の共有化と同好の会等を通じ相互の親睦をより密にする。
- ④ 寄付金を受理した場合の受け入れを含め経理処理のPC化に関し調査研究する。

(2) 継続事業

- ① 支部の組織的、計画的活動のさらなる充実、推進及び1人でも多くの会員参加を推進する。
- ② 南の国々の医療等に関する調査研究を継続する。
- ③ 情報交換会、講演会、サロン会、支部会、旅行会を開催し、会員相互の研鑽と懇親を深め、併せてこれらの活動に非会員の臨時参加を推進する。
- ④ 会報、新規会員増大のためのPR資料の充実並びに退会理由の調査を継続する(退会者は会則に則って「退会届」を提出するようにPRする)。
- ⑤ わが国の退職者等を歓迎する国々の情報を引き続き収集・調査し、それらの資料を公開する。
- ⑥ 拡大準備積立金の有効用途の具体化の検討を継続する。

2. 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施予定	実施予定場所・内容	備考
会報作成	会報発行(新年・春・夏・秋)	年4回	表紙のカラー化継続	会員相互の情報の周知
会報発送	会報・同封資料の発送	年4回	流れ作業による正確な発送	約10名/回
資料等製作	問合せ・入会者への資料作成送付	随時	約400件/年	
報告書等製作	会報同封資料の作成	年4回	会員名簿・「必携」の追加資料等の作成	
	海外くらし便利帳・医療編の作成	夏～秋	医療介護調査委員会	
	会創立五周年記念事業	秋	事業内容は実行委員会で設定	
案内書製作	入会案内書・「必携」増刷	春	入会案内書:600部・「必携」:200部増刷	
広報活動	インターネット・メーリングリストの管理	常時	雑誌・テレビ等のマスコミも積極的に活用を計る	情報の公開
情報交換活動・懇親会	情報交換会:関東・関西・東海等 サロン会:関東・東海等	数回/年 1回/月	地域活動の推進	情報収集・調査・研究発表・相互の親睦
支部活動支援	関東・関西・東海・甲信越・九州・北海道・東北・マニラ・セブ・BK・チェンマイ・KL・ペナン・パース	随時	支部活動への補助金支給 国内支部との交流促進	バギオ・ダバオに支部開設予定
通常総会	総会開催	1回/年	東京	
理事会・役員会	理事会・役員会の開催	8回/年	東京	各種委員会随意開催
その他	会章の商標登録	秋	昨秋申請	

(2) 収益事業

事業名	事業内容	実施予定	実施場所	予定人員	見込み額
	なし				

平成16年度特定非営利活動に係わる会計収支予算書

—平成16年4月1日から平成17年3月31日まで—

特定非営利活動法人 南国暮らしの会 (単位:円)

科 目	前年度 予算額 (A)	本年度 予算額 (B)	差 異 (B-A)	摘 要
I. 収入の部				
1)入会金収入	600,000	850,000	250,000	入会金:5,000円, 想定新規入会者数:170名
2)会費収入	2,000,000	2,750,000	750,000	会費:5,000円, 想定継続会員数:380名
3)資料売収入	200,000	350,000	150,000	想定有料資料請求者数:350名
4)寄付金収入	0	100,000	100,000	寄付金収入増の推進。
5)基本金等利息収入	100	100	0	1,000,000×0.01%
6)雑 収 入	20,000	150,000	130,000	5周年記念誌への広告掲載推進など。 当会名刺サービス料を含む。
7)事業拡張準備金より繰入れ	0	500,000	500,000	15年度寄付金総額を事業拡張準備金に振替え、16年度50万円を繰り入れ予定。
1. 当期収入合計	2,820,100	4,700,100	1,880,000	
2. 前期繰越	277,885	296,316	18,431	下記注-2参照
3. 収入合計	3,097,985	4,996,416	1,898,431	1. + 2.
II. 支出の部				
1)事 業 費	2,457,000	3,625,000	1,168,000	
①会報等事業費	776,000	919,000	143,000	年4回発行;表紙カラーの継続
②会報等送料費	352,000	468,000	116,000	年4回発行;発送作業量アップ。
③資料等製作事業費	290,000	417,000	127,000	問合せ者増大・担当者増。
④報告書等製作事業費	88,000	898,000	810,000	5周年誌発行・記念品製作。
⑤案内書製作事業費	100,000	170,000	70,000	「入会のすすめ」・「必携」増刷。
⑥内外通信事業費	90,000	—	▲ 90,000	管理費に変更。
⑦広報活動事業費	160,000	106,000	▲ 54,000	情報交換会ビデオ撮影支部配布計画中止。
⑧講師等謝礼費	82,000	82,000	0	支部費として支部に配分。
⑨支部関係事業費	519,000	565,000	46,000	ダバオ・バギオ支部設立・支部との交流の充実。
2)管理費	400,000	994,000	594,000	
①事務用消耗品費	50,000	102,000	52,000	当会名刺サービス料を含む。
②諸会・交通補助費	300,000	488,000	188,000	役員会・総会出席支部長増。
③内外通信費	—	202,000	202,000	電話受信代行契約。
④雑費	50,000	67,000	17,000	
⑤商標手続き関連	—	135,000	135,000	商標登録料。
3)予備費	50,000	50,000	0	
4. 当期支出合計	2,907,000	4,669,000	1,762,000	1)+2)+3)
5. 当期収支差額	▲86,900	31,100	118,000	1. - 4.
6. 次期繰越収支差額	190,985	327,416	136,431	3. - 4.

注1. 会員数合計550名を想定しており、この増減により収入・経費も大きく増減するので、期央において予算の見直しを検討し、健全な運営に努める。

注2. 総会説明では前期繰越額として前期予算額を使用してしまいましたので、ここに訂正いたします。

平成15年度特定非営利活動に係わる会計収支計算書
(平成15年4月1日から平成16年3月31日まで)

特定非営利活動法人 南国暮らしの会
(単位 : 円)

科 目	予算額(A)	実績(B)	差異(B-A)	摘 要
I. 収入の部				
1、当期収入合計	2,820,100	3,890,019	1,069,919	
(1)入会金収入	600,000	745,000	145,000	5,000円×149名
(2)会費収入	2,000,000	2,370,000	370,000	5,000円×474名
(3)資料売収入	200,000	161,500	△38,500	1,000円×160名 1,500円×1名
(4)寄付金収入	0	600,691	600,691	
(5)基本金等利息収入	100	88	△12	
(6)雑収入	20,000	12,740	△7,260	名刺印刷代、他
2、前期繰越	277,885	277,885	0	
3、収入合計	3,097,985	4,167,904	1,069,919	
II、支出の部				
4、当期支出合計	2,907,000	2,871,588	△35,412	
(1)事業費				
①会報等事業費	776,000	1,101,758	325,758	年4回発行
②会報等送料費	352,000	390,312	38,312	年4回発行
③資料等製作事業費	290,000	180,245	△109,755	会報添付資料の手作業による作成
④報告書等製作事業費	88,000	99,898	11,898	会員名簿・必携追加、その他資料
⑤案内書製作事業費	100,000	730	△99,270	入会のすすめ増刷中止。16年度に持越し
⑥内外通信事業費	90,000	83,847	△6,153	
⑦広報活動事業費	160,000	77,840	△82,160	動画情報配布計画繰延べ
⑦講師等謝礼	82,000	14,000	△68,000	内部講師重視
⑧支部関係事業費	519,000	508,715	△10,285	
(2)管理費				
①事務消耗品費	50,000	98,741	48,741	名刺作成者増大
②諸会・交通補助費	300,000	227,220	△72,780	
③雑費	50,000	45,082	△4,918	
(3)予備費	50,000	43,200	△6,800	当会ロゴマーク商標登録申請
5、当期収支差額	▲ 86,900	1,018,431	1,105,331	
事業拡張準備金		1,000,000	1,000,000	
6、次期繰越	190,985	296,316	105,331	

平成15年度特定非営利活動に係わる会計貸借対照表
(平成16年3月31日現在)

特定非営利活動法人 南国暮らしの会


(単位：円)


科 目	金 額	
1. 資産の部		
(1) 流動資産		
現金預金	4,788,346	
流動資産合計		4,788,346
資産合計		4,788,346
2. 負債の部		
(1) 流動負債		
前受金	2,125,000	
立替金	367,030	
流動負債合計		2,492,030
3. 正味財産の部		
基本金		300,000
次期繰越金		296,316
事業拡張準備金		1,700,000
正味財産合計		2,296,316
負債及び正味財産合計		4,788,346

上記調査の結果、いずれも正確である事を認めます。

平成 16 年 5 月 12 日

特定非営利活動法人 南国暮らしの会 監査会

監事 冨永 幸久  印

監事 齊藤 彰  印

パース、シドニー、ゴールドコースト各都市3ヶ月、 合計9ヶ月間、ホームステイして英語留学ーそのI

東京都在住 会員No. 417 木内 登希晴

60歳で学生さんになる。また格別の気分！

60歳にして外国で学生になる気持ちは、また格別のものがあります。なにしろ、もう資格を取る必要もないし仕事で使うわけでもないし、別に卒業できなくても、痛くも、かゆくも無いわけですから…。学校の先生に英文の日記を出しなさい、と言われても、「やだよ！」を決め込んで知らんぷりをしていれば、ああ彼はお年寄りだからまあいいか、と相手の方が譲歩してくれます。これで、卒業の時に卒業証書の点数が例え悪くても、アイ・ドン・ケアー、まったく気楽なものです。

ロングステイの極意の一つ。毎朝起きて行く所がある

外国で、語学学校へ通うことの何よりのメリットは、毎朝起きて行く所があるという安堵感です。学校へ行くことが1日の柱になり、帰り道に買物をしたり、用を足したりができ、1日のメリハリがはっきりすることです。外国に観光に来ているのではなく、外国にしっかり根を下ろして生活をしている、という確かな充実感を味わせてくれます。私が発見した「ロングステイの極意の一つは、語学学校へ午前中だけ通う」ということです。

語学学校は午前中の3時間だけで十分

語学学校へ通うとなると、日本人は生真面目ですから、1日中お勉強と考えがちです。それは学生さんのすることで、我ら南国ボケの老年は、午前中の3時間だけで十分です。若い学生さん達と午前中の3時間を目一杯一緒に楽しんだら、ハイ私は帰ります、皆さんは午後も頑張っただけ、と学校をあとにして、ゆっくりシティを歩き回ったり、カフェでカプチーノを飲みながらメールの原稿を整理したりすればいいのです。この、のんびりした時間の流れが、なんともたまりません。

授業だって、長年の経験と図々しきで乗り切れる

学校の授業だって、別に難しい政治学や経済

学を勉強するわけではありません。あなたの国のお料理を1品選んで隣の違う国の生徒に材料とその作り方を説明してください。とか、あなたの大切な物は何ですか？とか、あなたが飛行機で旅行したとき一番恐かったことは何ですか？とか…という実にたわいもないことが多いのです。若い学生さんは大まじめにテーマに取り組み、真剣にまとめていますが、我ら老年は長年の豊富な経験と図々しきで、ああ成程ね、と思わせるぐらいのことは出来ちゃいます。

最初に通ったのは、パース市内の語学学校

私が最初に通ったパースの語学学校は、Aspect International Language Academies in Perth校といって、パース市内のど真ん中にある。ホームステイ先に私より後にやって来たドイツ人のクラウス（26歳）とイタリア人のエンリコ（30歳）は、近くにあるEmbassy CESパース校に通っていた。私の学校は市内にあるため授業が終わると郊外にある家へまっすぐ帰ってくるが、郊外に学校がある彼らは授業が終わると市内へ楽しみに出かけ、夜おそく帰ってくる。彼ら若い西洋人にとって同級生である日本人やインドネシア人の東洋的な女性の細やかな優しさはかつて自国で経験したことの無い種類の快適さがあるらしく、夜な夜なバーやディスコへ誘い出して遊び回り、帰ってくると毎日のように前の晩の成果を自慢気に私に話してくれる。

短期間のせいかわ、若さが爆発したように毎晩遊び回って帰ってくる。60歳の私は夜はどこへも行かず家にいる。夜出歩くよりも、家にいる方がずっと快適に感じてしまう。これではいけないと思うのだが、でも、本音がそうなのだから仕方がない。

パース校の授業料は月7万円、ホームステイ代月5万3,000円

授業料ですが、パース校の場合、午前中3時間だけの授業（パートタイム）が、12週間2,640A\$（21万円）、入学金150A\$（12,000円）、ホームステイ代12週間2,000A\$（16万円）、ホームステイ手数料175A\$、その他出迎

費用60A\$、アドバイザー費用330A\$、現地銀行費用20A\$で、小計5,375A\$(3ヶ月の円小計438,063円=@81.50計算)。私の場合、東京新宿住友ビル14階にあるオセアニア交流センターで手続きを済ませ、438,063円を支払ってから出発した。

授業料だけで言うと、パートタイムが1ヶ月約7万円。午前と午後の授業があるフルタイムで約10万円。月曜から金曜までの5日間、毎日3時間の授業を受けて合計15時間。1時間当たり、4,600円だ。以前、私が通っていた駅前入学NOVAよりは倍くらい高い授業料だ。しかし、NOVAは1レッスン45分と短いし、授業が終われば日本語だらけの現実に逆戻りしてしまう。

一方こちらでは授業が終わっても、昼食を食べに行っても、バスに乗っても、ホームステイ先へ帰っても、日本語は一切通用しない英語だけの毎日。多少高くても、本気で英語を習得するなら、やはり現地へ行くほうがいいと思う。上記のアспект校は所在地:1325 Hay Street, West Perth, WA6005, Australiaでウエストパースのビジネス街に位置し、市内を循環する無料のキャットバスで通学が出来る。

シドニー校の授業料は月9万5,000万円、ホームステイ代月7万円

シドニーの英語学校は、オペラハウスのあるサーキュラーキーからフェリーで30分の所にあるマンリーという風光明媚な場所にある。この学校を選んだ理由は立地条件の良さである。6階建ての校舎から、美しいマンリービーチがすぐ下に見え、反対側からはマンリー桟橋のフェリー乗り場がある美しいビーチが見えるのだ。学校の中味はどこも一緒なので、今回は立地条件の良さで学校を決めた。

学校の名前はInternational House Sydney Waratah Education Centre。授業料は1ヶ月95,000円。ホームステイ代1ヶ月69,000円。パースにいたときと比べると、それぞれ約2万円ほど高い。シドニー市街へ遊びに行くと、パースと比べると、すごくお金がかかる。しかも人が多く、人情味が薄いように感ずる。東京から

来た私には都会の魅力は何もなく、シドニーは南国の田舎暮らしを志向する私には何の魅力も感じない都市に映った。

ゴールドコースト校の授業料とホームステイ代は共に月7万6,000円

ゴールドコーストの学校は、巨大マーケットがあるブロードビーチ海岸のオアシスという20階建てくらいのショッピングセンターの3階にある。学校の中味はどこも一緒なので、今回も立地条件の良さで学校を決めた。学校の名前は、ホルムズ・カレッジ。授業料は1ヶ月76,000円。ホームステイ代1ヶ月76,000円。シドニーにいたときと比べると、授業料が2万円ほど安い。

相変わらず日本人の学生が多いが、フランス領だったニューカレドニアからの学生が一度に33人も来ており、今はニューカレドニア人だらけという感じだ。デイビッドという私達の英語の先生は、額から汗を流しジェスチャーを交えながら、いつも本気になって一生懸命に教えてくれる。自分自身が楽しみながら教えてくれるので、私達生徒も楽しみながら英語の勉強ができてしまう、とても良い先生だ。

この40代のデイビッド先生と事務方にいる30代のボブと、そして60代の私、この3人の生年月日が、なんと同じ月のまったく同じ日に生まれたことがわかり、同じ星座の下に生まれたのだからきっと性格も似てるんだろうね、「きっと君は優しい性格のととてもいい奴だよ」「君も、君もそうだよ」ということになり、急に親しくなれた。

3ヵ月たったら、学校を変えて気分一新

上記3校で出会った外国人は、スイス人、イタリア人、フランス人、オーストリア人、チェコ人、ロシア人、ニューカレドニア人、インドネシア人、タイ人、中国人、台湾人、香港人、韓国人…といったところ。どの学校でも、私の場合は午前中のみ授業(パートタイム)を受講している。ロングステイの極意は、語学学校へ午前中だけ通い、規則正しい生活と毎日出かける場所があるという安心感を手に入れることで

ある。そして、3ヶ月ほど過ぎたら語学学校を変えることである。3ヶ月も同じ学校に通っていると正直言って飽きが来てしまう。真面目な学生さんと違って、こちらはパートタイムの気楽な老学生さん。飽きがきたら、さっさと学校を変えて気分を一新するのも一手である。入学金(12,000円程)が別にかかるくらいで気分が一新できるのであれば、安いものである。



写真:ホームステイ先の1軒。大きな庭とプールがある、うらやましい程の家だが、オーストラリアでは中流クラスの普通の家といえる。

ホームステイしていた時のエピソード1

私の前の部屋に26歳のドイツ人(クラウス)が入り、奥の部屋に30歳のサルディニア島から来たイタリア人(エンリコ)が入っていた。日・独・伊の3国同盟の話をしたら、若い二人はぜんぜん興味がなさそうだった。夕食後みんな揃っての団欒が、英語の勉強にもなり、楽しい時間となっている。ホストおばさんが「日本のホンダはいい車ね」と言うと、ドイツ人が「ベンツやBMWはもっといい車だよ」と自慢し、それを聞いたイタリア人がノノノッと人さし指を横に振りながら「フェラーリを知らないの!」と割って入ってくる。最後はホストおばさんのパートナーであるイギリス人のジャックが、「君達はロールスロイスって車を知ってるだろ」と言い始めたところで沈黙が続き、車談義が終わったりする。私を含め団体のでっかい男の学生が3人も一軒家にいると、むさくるしい時もあるが、ホームステイならではの外国人との楽しい語りがある。

天使のような男に出会った!エピソード2

世にもまれなる不思議な男、天使のような男と知り合いになった。ある日、ホームステイ先の近くにある小さなスーパーマーケットの庭先にあるベンチでタバコを吸っていると、一人の若者が近づいてきてライターのを貸してくれないかと言う。ライターを貸してやると、「どこから来たの?」と彼が聞くので、「日本の東京から来た、君は?」と聞いたところ、「ニュージーランドの北島のタウポ湖の近くの田舎町から来た」と言う。

「私はビザの書き替えでニュージーランドから1週間ほど前に帰ってきたばかりだし、昔タウポ湖の近くへは行ったことがある」と言うと、彼は親しげにそのままずっと話しかけてきた。別れ際にどこに住んでいるのと聞くと、私のホームステイ先の家から1本道路を隔てたごく近くの家に居候していることがわかった。「今日の日曜日に遊びに行っていきたい」、「いいよ、待ってるよ」と言うことになり、交際が始まった。彼は27歳のニュージーランド人で、舗装道路を造る親方の家に居候をしていた。

ニュージーランドの田舎なまりの発音に加えて道路工事をしているオーストラリア人の仲間と一緒に仕事をしているせいか、彼の英語は非常に聞き取りにくかった。次の日曜日に彼の家を訪問したとき、待っていてくれたようで、「今日は俺の車で、色んな所へ案内してやるよ」と言って、街や、海岸や、遠くの山奥にある貯水ダムにまで親切に案内してくれた。

貯水ダムに着いたとき雨が降りだしたので、車の中で色々話をしていたら、「あと3週間したらニュージーランドへ帰り、オークランド郊外の山奥にあるチベット仏教を教える山寺へ帰依し、坊主になる」と言う。髪はいつもボサボサで、まるでヒッピーのように見える若者が、この世のすべての煩惱を捨てて仏教の教えの中で一生を送りたいと言う。とても信じられない話なので、その後、彼の友人の家へ遊びに行った時や、彼の別の友人とパブへ行ったりした時に、「彼は坊主になると言ってるが、本当か」と聞くと、誰もが「信じられないけど、本当なん

だ」と言う。彼が居候している親方にも聞いた時、「彼は本当にいいヤツだから、俺の右腕として一緒にもっと働いてくれないかと何度も頼んだが、彼の決心は堅いようだ」と言っていた。

3週間後、親方、友人、そして私を含めて、ビールだけのささやかなお別れ会のあと、リュックサック一つだけの荷物を持ち、友人の車に乗って、国際空港へ向かった。彼と一緒にいると、何故か心が休まる不思議な魅力を持った、まるで天使のような心を持った若者だった。いつかオークランドへ行く機会があったら、山奥だろうが、山寺であろうが、是非もう一度この男に逢いたいと思った。

これぞ英語の醍醐味。現地の人と友達になる！ エピソード3

毎朝バス停でバスを待っていると、時々ものすごく愛想のいいおばちゃんと出会う時があった。彼女は私と出会うたびにニコニコしながら挨拶をしてくれる。

ある朝バスの中で同席したとき、「私の名前はシルビア、あなたのお名前は?」と聞くので急に親しさを覚え、「私の名前はTokiと言います。私は60歳の学生で、英語学校に通っているんです。近所に親しい人がいないので、今度の休日にあなたの家へ遊びに行ってもいいですか」と勇気を出して聞いてみた。「もちろん、ぜひ来てください、Toki」ということになり、ワインとケーキを持って2度ほど出かけた。

1度目は、ご主人の車であちこちドライブをした後彼らの家へお邪魔した。2度目は、カンガルーの肉、エミューの肉、クロコダイルの肉…を様々に料理をしてご馳走をしてくれた。ギリシャから来たご家族で日本人がとても好きだとおっしゃる素敵なお夫婦と仲良くなれた。再婚同志というせいか、とても相手を気づかう気持ちで優しく、夫婦ってこうありたいと思わせる魅力があった。シルビアのご主人ロス氏は、ビルや一般家庭の配管の仕方を生徒に教える先生をしている。

彼の趣味は骨董品の収集で、日本刀があるから銘を読んでくれと言うので見てみると、軍刀

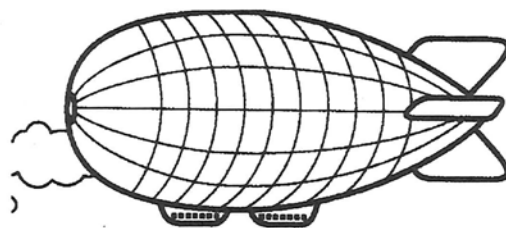
でそれほど価値があるものではなかったが、「関に住む、土岐真文 作」と書いてあり、これは私の名前「Toki」と同じ「土岐」という人が作ったものであることを告げると、「Toki」と「とき」の偶然の一致に「お前、本当のことを言っているのか?」という顔をしていた。彼の趣味の専門は本物の銃器で、ピストルからライフル銃まで実に見事なコレクションを持っていた。シルビアおばさんは、「人殺しの道具を集めて何が面白いの!これを全部売って旅行でもしましょ」と言って価値を認めようとしないので、困った顔をしていた。男の夢を女が認めない、というどこの国にでもあるような共通点を感じて面白いなと思った。

6時半にお邪魔し、11時半にその家を出た。何と5時間もその家にいたのに、とても楽しく、爽やかな気持ちの自分に気づき、「俺って5時間も英語の会話の中に大した違和感もなくいたんだ!」という満足感も同時に味わうことができた1日だった。



写真:ロス自慢のウインチェスターで、真中の銃は弾を銃把の後ろから入れる珍しい逸品

[秋季号に続く]



パース便り

パース在住 会員No.110 藤本 靖人

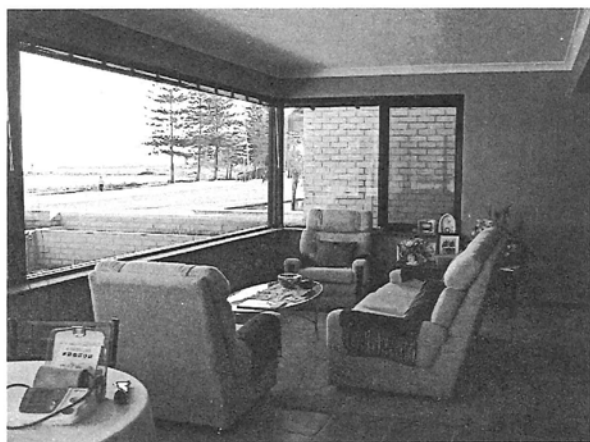
パースに来てから早や1年半強、その間いろいろなこともありました。何もかもほうり出して、帰国しようとも考えた時期もありましたが、皆様の励ましと、助言に助けられここまで来られたのは感謝に耐えられません。いずれトラブル集も公表でもしたいくらいですが、まあいいでしょう。

今回は現在の住環境と金融事情、医療事情の3点にしぼってお読み頂ければ幸いです。

《現在の住環境について》

昨年8月末にパースから南のフリーウェイの終点から約10分のSAFETY BAYと言うところに転居いたしました。ここは海岸から50メートル程度で家からの景色は180°海です。湾という感じは無いですが、2-3キロメートル先にリーフがあり、そこで波が止まり、我が家には波の音も聞こえません。潮の匂いも始めは、したように思いますが、現在はそれさえ感じなくなっています。

海には5~6隻のヨットと陸揚げできない大きなレジャーボートが浮かんでいます。最近冬になりつつありますから船のレジャーの人たちも大分少なくなってきましたが、土日はまだ結構賑やかです。海からの風が強くなりだすと、ウィンドサーファーで凄い賑わいになります。多い日は常時30~40台のサーフィンが猛スピード(30km)で走り回っています。こういう環境でも喧嘩騒ぎなど全くありません。



家の中から外の風景

海鳥はペリカン、海鷗、かもめが主体で朝は特に賑やかです。ここから2キロメートル先にはペンギン島があり自然保護区となっていますが、見学に行っていないので詳しい事は判りません。海は朝早くにはよくイルカが遊んでいるのをよく見かけましたが、最近は余り気がつきません。

買い物は車で10分以内に3つショッピングセンターがあり、日本の調味料などはパースまで行かないと手に入りません。その代表的なものには豆腐、納豆、冷凍うどん、冷凍ラーメン、ソース類、マヨネーズ、海草、お茶などですね。現在は日本クラブの世話役をやらされておりますので週3回ぐらいパースに出かけているのが現状で、月2000km以上運転を余儀なくされています。

《オーストラリアの金融事情》

4大銀行(ナショナルオーストラリア銀行、オーストラリア・ニュージランド銀行、コモンウェルス銀行、ウェストパック:チャレンジ銀行)があり、これを中心に動いています。何処の銀行も格付A以上で、パスポートを持って行けば口座を開いてくれます。日本の住所で手続きを行ってください。そうすると非住居者となり金利に対する税率は10%源泉分離課税になります。

普通預金口座は2つに別れセービングアカウント、チェックアカウント(銀行により呼び方が異なります)があります。セービングは日本的には当座預金口座に近く金利は付かない銀行があります。チェックアカウントは所謂パーソナルチェックを振り出す事が出来、こちらでは殆どの方が、この口座を持っています。この口座の金利は1年定期より1%位落ちますが付きます。(現時点で3-4%)

定期預金(1-5年)金利は毎週見直されているようです。現在キャンペーンをやっているところで5.2%(1年)程度です。期間が長くなれば金利が上るのは常識的ですが、銀行側も見通しを間違うと大変ですから、3年以上は金利を上げるより下げているケースが目立ちます。

この1年定期をしてそのままにしておく自動継続していきます。当然期日が迫れば案内はきますので御安心ください。

もう1つ年金定期預金を紹介しておきます。これは日本流には財形貯蓄です。オーストラリアは年金が日本の基礎年金程度しか無く、それも5万ドル(400万円)以上の預金がある人には支給されない制度です。これを補うため金利の利子に税金を課税(国民の税率28%)しない特別な貯蓄です。この商品を扱う金融機関は銀行ではなく、生保、損保の8社が扱っています。これも確定金利で1~5年です。最低金額は確か1万ドルだったと記憶しています。この商品では複利運用はしてくれません。問題は金利ですが、銀行の定期預金より0.2~3%下回っていると思いますが、取り扱う機関により差は大きいようです。

さらにチャレンジャブルなものを紹介しておきますと投資信託会社の商品(1例に過ぎませんが、6ヶ月置きぐらいに発行しているのですが、この商品(10年)ものの特徴は、集めた資金の一部を銀行に預金してその銀行に投資家の出資金を100%保証(10年間で)させることです。そしてこの投信会社は残りの資金をハイリスクで運用するという方式です。

このハイリスク運用も1年単位で決算し、運用益の一定部分は銀行に預金し100%以上を銀行預金で補う運用です。因みに1997年に設定したものは、現在銀行の預け入れ資産1.7倍、現在のこの投信価格は3.3倍となっているそうです。この3.3倍の価格は毎月公表されその価格で途中解約は可能だそうです。但し1年未満は不可だったと記憶しています。

お金の問題は確定金利といっても銀行ないし金融会社が倒産してしまえばそれまでです。いざれにしても100%安全はありませんので自己責任には十分御配慮ください。

更に海外でのお金の問題は為替という厄介な問題があります。現在は少しもどりましたが、米ドルに対して円高で日本の政府は円売りドル買介入繰り返していましたね。一方オーストラリアに対しては一方的な円安で、一昨年1ドル

65円ぐらいから今では80円ぐらいです。これは私どもにとってオーストラリアの物価が3割高くなったと同じ現象なのです。したがって少々の金利を論じる前に為替対策の方が重要だということを海外で生活すると身に沁みます。もしオーストラリアでお金について問い合わせたいとご希望の方は jas_suzuki@iinet.net.au の鈴木竜一郎君に聞いてみて下さい。

彼は何処の金融機関にも属さないコンサルタントとして活躍しています。相談したらすぐコンサルタント料の請求が来るとの、ご心配は無用です。もしそうした費用が必要なら、先に彼の方から説明するはずで。

《パースの医療事情》

オーストラリアの医療はイギリスの制度と同じ考え方です。一般的には国民はクスリ代以外無料ですが、財政事情もあり私的医療部分も発達してきています。政府は国の不足部分を私的医療機関に負わせるため私的保険も入る事を奨励し3割を国が負担するとまで言っています。

我々及び皆さん方のオーストラリアでの医療は国民でないため私的医療機関でお世話になることとなります。まずGP(日本で言う開業医)と言われるゲートドクターの診察を受けることとなります。そのドクターの指示で処方箋を貰って薬だけで終了する場合もあります。またその医師の紹介で次の専門医を紹介される場合も有ります。

一般的にはGPに行くのも予約が必要です。しかし急病であればその限りではありません。その他救急車を必要とするような場合(例えば交通事故、心臓発作など)では救急病院に行くこととなります。自分の場合GPドクターは決めておりその都度、その先生の診察後専門医を紹介して頂いています。昨年は3回種々の専門医を訪問する羽目になり医療にはかなり詳しくなりました。

皆さんは旅行傷害保険、クレジットカードの保険で利用されるので、この種の手続きに慣れている日本語医療センター(GP)が良いでしょう。ここは全国的な会社でInternational

Medical Servicesの一部門です。パースの場合、扉の下の部分に日本語医療センター(あまり目立たない)と書いてあり、奥のカウンターに日本人受付があります。24時間日本語フリーダイヤル1800-777-313を利用して予め連絡の後、受診されることをお勧めします。

住所:420 Wellington St. W.A. 6000

(パース駅コンコース2階)

Tel 08-9225-1109 Fax 08-9221-4069

診療時間 年中無休

月～金 8:00～18:00

土・日・祝日 9:00～18:00

夜間の救急受付も可能

多分診療時間中は日本語フリーダイヤルも有効かと思いますが、掛からないケースも考えられます。

誰にも頼れないケースでは131-450に電話してジャパニーズ プリーズと叫んでください。(これはオーストラリア中有効です)そうすると日本人の通訳が出てきます。そこで用件を告げその人を仲介として色々なことが出来ます。

この制度は公的な機関に用件がある場合は無料ですが、それ以外は有料です。急病で救急病院に飛び込んだ場合は、貴方が喋れないと先生が判断すればこの通訳(interpreter services)制度を利用してくれます。

余分なことですが、泥棒に入られたので警察に連絡したい場合も131-450は有効です。

上記の日本語医療センターの各都市の電話も記載しておきます。

メルボルン 1800-777-313

ケアンズ 1800-688-909

シドニー 1800-355-855

ゴールド・コースト 1800-686-099

ブリスベン 1800-686-019

こうして書きますとパースの日本語フリーダイヤルはメルボルンと共通です。と言う事は色々な心配なことも考えられます。

オーストラリアの私的な外国人用の医療保険について少し述べておきます。私の場合M社の保険ですが夫婦で月400ドル(3万2000円)です。

加入後1年間は既存の慢性疾患、歯科医療、眼鏡などは除外規定に入っていました。慢性疾患でも新しく発病したものはOKですから知らん顔して日本のことを、お知らせしなければ大丈夫だろうと判断しております。

しかしこれは昔からの疾患と判るものは止めた方が無難ですね。晴れて1年後フルカバーの権利を獲得すると、医師に支払う費用、臨床検査費用、各種検査(レントゲン、胃カメラなど)理学療法費用などは一端支払いますが、保険会社に持ち込めばその場で全額償還してくれます。また入院するようなケースは病院から保険会社に直接請求するので自己負担は全くありません。

さらにクスリ代ですがその種類により償還額が異なります。すなわち命に関係する度合いの高いものは85%まで還元してくれますが、降圧剤などは現在40%ぐらいの償還率です。薬の場合年間償還額に上限があり、それを突破すると全額自己負担になります。

今年になって判った事なのですが当然約款を読んでいれば判るはずですが、こういうものは日本語でも読みたくないのに、増してや英語ですから始めから無視していたのですが、日本に帰国する寸前ゴルフ場で友人から、海外旅行中は医療保険を一次休止出来ると教えてくれました。海外での病気には保険会社は対応できないからだとのお話ビックリ仰天、直ぐに保険会社に行きました。話を聞くと航空券とパスポートを持ってこいとのこと、3月の帰国の際始めてこの制度を利用しました。これは夫婦で月400ドルですから2ヶ月も日本に帰国していると6万円強の節約になります。

医療費の日本との比較ではオーストラリアは日本の7割程度と解釈しています。薬代は銘柄品で50～80%でしょう。しかし特許が切れている非銘柄品は非常に安いものもありました(日本の1割程度)。したがって無保険で診療を受ける場合はそのことを考えて置いてください。先日、日本人が入院したので費用を伺うと1日個室で400ドルとのことでした。日本よりかなり安いかなと思いましたが。日本なら最低5万円ぐらいの部屋と推察しました。因みに日本の大

学病院 8 人部屋で差額ベッド代なしの場合、25000円程度です。

海外旅行障害保険、クレジットカードによる保険(各社により取り扱い方が異なるので注意)の場合の医療費は通訳代も含めて無料と聞いていますがこれは正しいでしょうか、チョット私には判らないところです。

ここで昨年私が日本語医療センターを利用した事例をお話しましょう。

昨年の 9 月初旬、確か木曜日だったと思いますが、何だか目の周りが腫れてきた、鏡で見ると瞼の上の部分に白く腫れた部分がある、これは麦粒腫(めばちこ)の出来始めかなと判断しました。抗生物質があればこんな簡単だが、薬も無いし、金曜日に更に大きくなった。仕方がない眼科に行くかと思いましたが、眼科は専門医、紹介無しには行けません。そこで掛かりつけの GP に連絡してもらったところ月曜日の 12 時の予約となりました。土曜日には更に大きくなり痛みもでてきました。

そこで日本語医療センターは予約無しでも、何とかなるのではと、飛び込みをやってみました。案の定予約が無いと無理との回答が帰ってきましたが、それなら抗生物質の処方箋だけでも出してくださいと粘った結果、予約の人がまだ来ないのでと女医さんが診察してくれる事になりました。診察の結果これは重大な疾患の恐れがあるので、直ぐ専門の眼科医に電話連絡と紹介状を書いてくれました。そうするとセンター側も親切になり通訳もつけましようかとのこと、お断りしましたが時間 50 ドルぐらいはとられるでしょう。

ここまでの費用は診察料 40 ドル、通訳料 20 ドルの計 60 ドルでした。専門医にはこちらに 30 年住んでいる女性に通訳をお願いし診察を受けました。単純性ヘルペスで、もう少しのところで眼球にも感染したとのこと、ここでは色々な検査をされたので 250 ドルほどの請求でありました。薬剤は日本と同じ銘柄でしたが日本がやや高く設定されておりました。結局週 1 回 3 週間通い、700 ドル(約 5 万円)の治療費でしたが、自己負担はクスリ代の 25 ドル

(2000円)でした。こうゆう経験を踏むと、日本には直ぐに専門医にアクセスできる制度が残されており捨てがたいと考えました。

また、こうした場合、オーストラリア人はどう解決しているのか今後調べたいと思います。(注:日本も欧米流に GP 制度全面的に取り入れる方向に進んでいます)

医療に関する最近の話題として、永住している方の娘さんが医師になりました。まだまだ一人前になり開業されるのは先のはなしですが、心強いことです。歯科医の方は先日開業されました。歯科医も色々クレームの多い分野ですので、日本人にはこころ強いことです。(インスマイル歯科医院:長嶋春男院長 電話:9315-6800)

パースのリタイアメントビレジを御夫婦で事業化されている方がいます。とはいってもご主人はマレーシア人で奥様が平松さんという日本人です。昨年見学させていただきましたが、現在ローケアーの施設とハイケアーの施設が運用されておりました。ビレジ部分は建設中で 3 ベッドルーム付き住宅になるとのことでした。我々が利用できるのはビレジ部分に限られるとの見方もありますが、国民健康保険は海外適用が可能になっているところから、近い将来介護保険の利用が可能になることも考慮しておくべきと思われます。この海外適用はフィリピン政府、タイ国政府、マレーシア政府も日本国政府に要求している問題です。

以上

緊急の場合の連絡先

藤本 靖人

電話 61-8-9591-1756 (国外)

08-9591-1756 (国内他州)

9591-1756 (西豪州内)

携帯 0417-963-396

E-mail: fujisann@bigpond.com

チェンマイ・・・その光と影

チェンマイ在住 会員No. 558 伊沢 豊

物事に表と裏があるように、チェンマイにも同じことが言えます。最近日本ではなぜか、当地のことがいろんなメディアで取り沙汰されているようですが、現地に長年滞在している我々からすれば、なにやらエエトコドリの茶番のように見えてなりまへん。そこでこの欄では、「チェンマイっていったいなんやねん」に迫ってみようと思います。

チェンマイ・・・その「光」の部分

*この街は古都だけあって、日本の京都に共通する部分がぎょうさんおます。ローカルカラー豊かであるかと思えば都会的な部分も十分にある・・・そんなところがチェンマイのおもしろい部分とちゃいまっしゃるか。

☆京都とチェンマイの共通点

上述のようにどちらも古都であるということ・・・だけやなく共通点がいっぱいなのであげてみることにしてみましよう。まず京都は比叡山の延暦寺、これに相当するのはチェンマイの有名な山ドイステープ山頂にあるワットプラタートドイステープ寺院、京都大学に相当するチェンマイ大学、鴨川に対してピン川、西陣織にはタイシルク織り、清水焼に対するセラドン焼、京美人に対してチェンマイ美人、どちらもはんなりした京都弁とチェンマイ弁、伝統年中行事が多いのもまったく共通、ことほどさように数えあげればきりおまへん。

☆農業大国

タイは農業大国だけに、米・野菜・果物が豊かで極端に安うおます。タイ人は外食が好きですが、オープンレストラン(屋台)で食べる諸々のタイ食が、安うてうまいのなんのって・・・タイ食は日本人の口に合うように思います。果物大好き人間にとってはもう、感激のあまり狂い死するんっちゃいまっしゃるか。チェンマイの一角に「バナナストリート」ちゅうバナナばかりの露天が約100mに亘って並ぶ所がおますが、ここではバナナひと房が5バーツ(15円)・・・思うんですが、トラックに山盛り積

んではるか何十キロ先の農村から運んできて、はたしてガソリン代も出るんやろうかと・・・私のような金持ちには、どうしても理解できまへん。

☆美女の産地

とよく言われますが、ほんまはチェンマイを含めた北タイ全域のこと。なぜ「北タイ」なのかいうと、歴史的にルーツが中国系の人が多く、タイ人にしては色白が多い。長い年月に亘って色んな部族の血が混じったせいか美人が多く、ために何か行事があると必ずと言っていいくらい「ミスコン(ミスコンテスト)」が行われます。特にミスコンの規模の大きいのは三月の「花まつり」・十一月の「ロイカトーン(灯籠流し)」・・・でっしゃるか。各地域・職場・学校・・・などから選ばれてくる女の子は「いずれアヤメかカキツバタ」・・・絶世の美女ばかりでおます。

☆花の都

温暖な土地柄だけに年中花の絶えることがおまへん。季節の移ろいにより多少花の種類が変わるとはいえ、有名な「ワローロット市場」に隣接する花市場へ行ってみなはれ、そりゃもう目も鮮やかな色とりどりの花がワンサとあり、しかも安い！ 花好きのご婦人方、感涙にむせぶこと間違いおまへん。



そやけどなんと言っても花の盛りは3月、「フラワーフェスティバル」いうて大々的な花祭りがおます。見ものは花自動車がメインの

大パレード。各車には前述のミスコンなどで選ばれた美女が乗っており、この車が民族舞踊グループの踊りなどを挟み、20数台が延々3kmに亘ってしずしずと進みます。そしてきらびやかで美しい民族衣装に身を包んだ美女たちが、車上からしなやかに手を振り艶然と微笑を振りまくさまは、もうこの世のものとは思われまへん・・・その美女のどれでもええから一人ゲット出来たら、いつ死んでもええと思うのんは観衆の男ども共通の思いやおまへんか、ウツヒツヒ・・・

☆心やさしい北タイの人達

タイ人は、男女を問わず一般的に「チャイデイ(心やさしい)」と言われてます。だがそれは、ここチェンマイを含めた北タイの人達に言えることで、バンコクあたりの都会地の人間はそれほどやない・・・とは、長年バンコクに居た人の言葉。ヒイキめやなく、チェンマイ人は特に日本人に対する感情はよろしいようで、日本人大好き人間が比較的多いのは確かなようでおます。

それは私共ゴルフ中に、いろんなキャデイとしゃべる機会があるので分かるんですが、中国人や韓国人に対するものとは異なる感情を抱くようです。その理由を聞いてみると;①日本人は金持ちなのにえらぶらない ②タイ社会には、車・家電製品をはじめ漫画に至るまで日本製品がどっぷり入り込んでいるので日本に親近感がある ③日本人は進んでタイ語を勉強しタイ人に協調しようと努力する ④日本人はあまり激昂せずおとなしく上品 ⑤チェンマイ南方50kmのランプーンと言う所に大きい日本の工業団地があるが、タイ人にとってはそこで働くのんが夢でありステイタスだ・・・などなど、なんやぐすぐとうなるやおまへんかいな、あーコチョコバ!

☆道路のこと

私は平生、長距離ドライブするときは幹線道路を避けて出来るだけ田舎道・山道・田んぼ道を走ることにしてます。なぜか? タイの田舎

道・山道・田んぼ道を走ると日本のソレに似た風景があり・・・それも私が子供の頃(四国の田舎の農村育ち)ヤンチャクレどもが駆け回った原風景が、ここかしこにあるんです。あまりに懐かしゅうて、とある村の中の駄菓子屋の前で車を止め子供たちのコマ回しを眺めたり、広大な田園地帯の田んぼの農道に車を止め田植えを眺めたり・・・いやもう、自分が異国にいることなどつい忘れてしまう・・・これがタイでのロングドライブの醍醐味というものでっしゃろかなあ。

ことほど左様に、あちこち走り回るたびに思うんですが、タイはどこへ行ってもほんまに道がよろしい。幹線道路は勿論ですが、田舎の津々浦々まで舗装されている・・・つくづく感心します。この国は日本の1.5倍の広さ、そして人口は半分・・・立ち退き問題などあまりないようで、車より先に「まず道路ありき」の政策が徹底しているようです。幹線道路に至っては片側2車線～3車線の立派な道路がフリーウェイ(無料道路)、先進国のどっかの国がでけへんことが、中進国のこの国になぜでけるんか不思議でなりまへん。

チェンマイ・・・その「影」の部分

★大気汚染

チェンマイの11月～3月は俗にハイシーズンと言われ、この時期冬季の日本だけやなく、特に北欧諸国から避寒客がどっと押し寄せてきます。12月～2月には、日本の早春によく見かける「春がすみ」そっくりの現象が続きますんやが、特に昨年あたりから当地の気象に変化が出始めました。

1昨年あたりまではモヤっても近くの山(ドイステーブ)が全く見えなくなるなんてことはおまへんでしたのに、今年は見えない日がほとんど。つまり近年の急激な車社会への変貌がもたらす排気ガスの増加と、盆地という地形から来る空気よどみが原因で有害なスモッグが加わり、チェンマイの気象環境は着実に悪化し始めているのでおます。

地元タイの新聞によると、このところチェン

マイは肺ガンの発生率が国内一やとか。身近な被害者の実例を言いますと、CLL会員で南の会の会員でもある或るお方が、咳・頭痛・胸苦しさがひどくなった・・・などでこちらでの住まいをたたみ、ついに帰国してしまわれました。

★交通環境

・車優先社会

チェンマイは以前から交通信号機の数が非常に少なく、歩行者に配慮したものは数えるほどしかおまへん。それでも車の少ない一昨年あたりまではあまり気にならなかったのですが、このところ道路横断が大変危険になってきました。車の流れに切れ目がなく手を挙げても止まってくれまへん。われわれ高齢者の道路横断は命がけ、オタオタしてたら跳ね飛ばされそう。

・歩道の未整備

車椅子・乳母車の使用者や老人が少ない国のせい、為政者の頭には「段差の無い歩道」を作るという発想がないようでおます。しかも歩道のところどころでブロックがはがれ、暗渠の口がポッカーリ開いているなんてことはしばしば、だがなかなか修理されません。「命を守るのは自己責任」と言わんばかり。

・渋滞に拍車・・・マイカーでの児童送迎

朝夕児童を学校へマイカーで送迎する親が非常に多く、名門校ともなるとその数7割を切らんのとちやいまっしゃるか。これは親の見栄なのかステータスか。とにかく朝夕のラッシュに拍車をかけており、午前8～9時と午後4～6時は超ラッシュアワーでいずこも大渋滞。この時間帯に我々アウトサイダーは、火急の用がないかぎり街中に車を乗り入れるのは鬼門。

・運転マナーの悪化

車の増加とともに目だってきたのが追い越し・割り込み・クラクション。気の長いので有名だったチェンマイ人気が少しずつ変化してきました。どっかの国がいつか来た道を、同じようにたどるんでっしゃるか。

★困難な住まい探し

タイ国ではわれわれ外国人は土地付きの家は

買えないが、コンドミニウムなら購入出来るということ。ところがショートステイヤー(6ヶ月以内)やロングステイヤー(6ヶ月以上)でも購入する人はごくまれで賃貸コンドの人が殆んど。

[諸問題点]

① タイのコンドの大きな特徴は、各部屋ごとにオーナーが違う。

② したがってオーナーの意図・好みで部屋ごとに調度品が異なるため、同じ大きさの部屋でも家賃が異なる。

③ 部屋の仕様だが、例えば同じ50㎡でもA室はリビングとベッドルームが兼用の一部屋、B室リビングとベッドルームを分けた2部屋、であったりする。

④ チェンマイでコンドを探す場合、われわれ日本人が一番困るのは、キッチンの無い部屋が殆ど。その理由としては *タイ人は外食が主である *部屋で煮炊きするとコンド中に匂いが充満する・・・かららしい。

⑤ 次に日本人が困るのはお風呂・・・どっぷり浸かれるバスタブがなく、シャワーだけが殆んど。

⑥ それでも昨今は物件不足で、空き室をみつけるのが大変。これは近年のチェンマイ人気で日本人だけでなく外国人がどっと押しかけているのが原因。

※ 契約期間については、従来は3ヶ月以内の滞在でもOKだったのが、今では6ヶ月以上というのが常識になっている・・・売り手市場。

★しがらみ(人間関係)

この「影の部分」欄で、一番申し上げたき儀なれど一番申し上げにくきことなれば、あえて控えさせて頂きたく、皆様方のご賢察をよろしく願ひ上げ奉り候也。

要するに当地は狭い狭い社会にて、「出る釘はなんとやら・・・」を地で行くような所、十分お気を付けあそばせ・・・とだけ申し上げておきまひよ!

☆☆ ことほどさように、当地の「影」の部分も挙げていけばきりがおまへん。だがそれはどこ

の国にも、どの地域にも言えること。それをどの辺まで妥協し我慢するか、或いは逃げ出すかは本人次第やと思います。

ただ私にとってチェンマイは、若い頃から海外各地を歩き回ったあげく最後にたどり着いた所であるだけに、やれ大気汚染やなんやいうても、そう簡単にあきらめられるもんとちゃいます。ただ、今後はあちこち住みわける必要はあると思うてます。例えば当地が猛暑の4～5月や日本が好季節の9～10月は帰国するとか、チェンマイの大気汚染がひどい12月～2月は日本は冬なので帰国せず隣のチェンライ県に一時避難したり、或いは思い切ってバリかセブかニュージーランドでロングステイするとか・・・いうのもええのんやないかと思ひます。いやもう考えるだけでワクワクするやおまへんかいな。余生は短い・・・急ぎまひよ！

メーリングリストからのミニ情報

NO. 487 横井です。

ジャカルタには素晴らしいゴルフ場がいっぱいあります。パブリックとメンバーゴルフ場に分かれてますが前者は安いけどお勧めできません。キャデーのあたりが悪いとボールを盗んだり法外なチップを要求したりしてきます。

この点メンバーゴルフ場は安心ですが若干高いのが難です。プレイフィーとキャデイフィー合わせて35万から50万ルピヤです。(5000円～6500円)

私がお勧めするのは

パームヒル(景色抜群)、スダナ(キャデーが美人ぞろい?)、ポンドックインダー(町から近い名門)、エヤーポート(そばのシェラトンホテルに泊まると優先的に予約とってくれる)、リバーサイド(難コースで有名)などのほかいっぱいあります。

週末は一人では回らせてくれませんがゴルフ場側で適当に他のパーティーに入れてくれます。いずれにしてもホテルから電話で予約を取ってゆくことが必要です。

チェンマイよりラブコール

NO. 558 伊沢 豊

チェンマイに来るなら、この時期が狙い目でっせえ・・・!

当地在住満4年の実績から、チェンマイの1年(12ヶ月)を体験学的にランク付けすると

◎ 第1位(ベストシーズン)=6月・7月

§ 雨季とは言え日本のツユとは全く異質で、日に1～2回スコール(夕立のようなもの)が来てサッとあがる。したがってゴルフなどに支障を来たしたことはほとんどない。

§ ローシーズンと言われているため客が少なく、ホテルはがら空き値下げ。

§ ゴルフ場もガラス空き、時間帯によってはコースを独りじめ。

§ 曇りの日が多いため涼しく、しかも日本ほど湿度は高くない。

§ 例年、タイ人もこの時期が来るのを待ちかねる。

○ 第2位=8月・9月・10月

§ 8～9月は雨季も中盤で雨量がやや多い。

§ だが涼しく、ゴルフなどへの影響はやはり少ない。

§ 10月に入ると雨季は終息に向う。

☆ 第3位=11月・12月・1月・2月・3月

§ ハイシーズンで好天気が続くが風がなく、街全体がスモッグに覆われる。

§ 11月は有名なロイカトーン(灯籠流し)の行事がある。

§ 観光客がどっと押し寄せるのでホテルを筆頭に料金が高騰。

§ 最近有名になったあの韓国勢が大挙襲来するため、ゴルフ事情は最悪。

§ 3月は春真っ盛りで花祭りの大パレードがある。

★ 第4位=4月・5月

§ 最高に暑い時期で、ソンクラーン(水掛祭り)がある。

§ 日中の気温が40度前後になる。

発信元: 南の会・チェンマイ支部

タイ・シーラチャ

東京都在住 会員No. 80 阿部 功

チェンマイには海がない

会員のチェンマイ詣でが増えているが、聞こえるのがチェンマイに海があれば決まり！の声。やはり南国好きの多くが海に憧れている。去年はチェンマイからサメット島へのルートをご紹介したが、今回はバンコク近郊の海沿いのロングステイ候補地をさぐってみた。ホアヒンとパタヤが有名だが、会員の龍野宏さんの紹介MLにあったシーラチャに興味があり一度滞在したいと思っていた。

3月初めに雲南・ラオス北部と不摂生の旅を続け、命からがら辿り着いたバンコクで帰国便搭乗寸前の深夜力尽きて倒れ、救急車で入院し4日後退院し精密検査の為緊急帰国した。今回、この事後整理の為タイを再訪問する必要があったので、この機会(4月末)に静養を兼ねて念願のシーラチャ滞在とパタヤとホアヒンへも足を伸ばす事を計画した。

チケットは

バンコク発成田往復1年オープンチケットを愛用しており、倒れる前に最後の力を振り絞って格安のエジプト航空往復券を入手していた。この時期、格安便は満杯であったが、2週間後に成田バンコク間の運行を止める事情のエジプト航空券をやっと入手出来た。入院時美人の看護師が搭乗券を見て搭乗2時間前に「ポストポン」してくれていた事を後で知った。退院後これを使って運良く帰国したが、有効期限の2週間内ではタイ行きにつき医者への許可が下りず無効を覚悟し、保険会社に相談してみた所、医者に掛ってからの変更は担保するが、それ以前のものには担保しないとされた。皆さんも出発前にカード付帯なりの旅行傷害保険の条文を良く読んで理解しておいて下さい。結局診断書を添えてエジプト航空と折衝したところ特別事情で一定期間は日本航空に振替る約束を貰った。

ここで、バンコク発1年オープン格安航空券事情についてですが、ピーマンバンガラ、インド、エジプト航空がご三家だが、エジプト航空は運行停止、インド航空は値上げとなり、週1便のピーマンバンガラが混雑する事情になっている。(手数料含まずの参考価格:インド航空20,000Bピーマンバンガラ11,600B) 1B=3円(実勢は2.8円程度)

医者への許可を待って日本航空での出発となり、マイレージが付いた上に「さくらラウンジ」利用可と

破格の待遇であった。幸先の良い旅となったが妻が心配してベトナム旅行を切り上げてドンムアン空港での合流となり、夫婦旅となったのは残念！

なお、ドンムアンで妻を待ってる間シニアのバックパッカーと情報交換した所、今後は帰国チケットないとタイ入国は不可になると言われた。タイの業者に郵送代払って事前に送って貰えば良いだけの話だが窮屈な感じがした。真相ご存知でしょうか？

シーラチャ(Sriracha)へ

バンコクからパタヤ方面へ100Km、バスでエカマイバス駅から2時間半、ドンムアン空港からタクシーで2時間、パタヤの手前にある小さな港町。

バス利用は空港バス(ルート3)100Bでエカマイ東バスターミナルへ、ここから冷房直行バス70B。或いは市内交通混雑の際はタクシー100BでBTSモチット駅へ、BTS40Bでエカマイ駅、徒歩0分で東バスターミナル、直行バス70B。勿論、混雑如何だが直接モチット・マイ北バス站経由でも良い。

タクシー利用は「空港案内所」ではベント利用で2,000B、行列の「パブリックタクシー」利用ですと、受付で1,200B払って高速代込みでOK。但し運転手はシーラチャ市内知らないの、「ロビンソン」で下ろして貰い、トクトク30Bでホテルへとなるかも。

シーラチャは手前のチョンブリからパタヤにかけて点在する沿岸工業団地の真ん中に位置し、それら企業のお陰で発展中。日系企業も多い。従って日系企業を始めとした駐在員家族が多数在住し、外国人向けのマンション物件は眺望・広さ・設備も良好だが家賃が2~3万Bと安くないと契約期間1年以上が難点で短期滞在派や5万円派には無理かもしれない。特にシーラチャには日本人が多数居住し、ファラン(タイ語で欧米人を指す)は車で30分程のパタヤに居住している様子。

しかし最近ではシーラチャでは日系企業、特に自動車部品関係が好調で物件逼迫状態にあり、タイ人向け物件のスタジオタイプで家賃7,500~12,000B(バスタブがない程度で他の設備は全て完備)にも日本人が入居し始めている。

この物件が契約期間を含めL S派にはねらい目と思われる。次に街の概要から、ホテル、マンション、海、ゴルフ場について知りえた事柄を紹介する。

町の概要

町の人口は不明、国道3号線と海に挟まれた小都市。内陸方面の7号線沿いに企業団地とゴルフ場が点在する。鉄道駅もあるが、バスが都市間の主要交通機関で市内はソンテウとトクトク利用。トクトクが多数待機してて市内30B均一でとても便利です。中心は「ロビンソン」と言う大型ショッピングセンターでチャンマイの「センターン」を一回り小さくした程度で地下はスーパーマーケット。日本食材多数あり。「8番ラーメン」や「富士レストラン」等日本食レストランあり。海沿いに地元市場もあり、朝活況だが早く閉店する。果物や海産物が豊富で安い。

病院は大規模なものが2～3箇所ありサミティベート、パヤータイは日本語での受診可。



シーラチャ概観

夜ともなればあちこちに赤提灯がとまり、「こまち」「ひまわり」「將軍」等30軒はあると言われる居酒屋が活況を呈する。ここらがリトル東京と言われる所以だろう。数店を体験したが、残念ながら日本人サラリーマンが2～3人づつたむろしてぐちを言ってるのか、リタイヤーの出番がなく交流出来なかった。リタイヤーと出会えず、ここが最大の難点と感じた。

コーヒー好きはロビンソン横の「すばる」で本格コーヒーと日本の新聞や番組ビデオを楽しめる。

最近出来たナイトスポット「ナイトスクエア」は数十軒の屋台を一箇所に集めた広大な屋台村で主としてタイ語メニューだが安価にタイフードを楽しめる。

この地区の最大のお勧めは町の南北へと続く海岸沿いに多数点在するシーフードレストランであろう。海に突き出た栈橋の上のレストランが多く、潮風を受けながら安価にエビ、カニを楽しめた。

物価はチェンマイ並の様だが、タイ社会に入っ

いく日本人が見受けられず日本食等割高になる。年金族は全く見かけないし、現役日本人の町か。

ホテル・ゲストハウス

No. 1は「CITY Hotel」で日本人専用の感じ。TVのNHKは元より新聞、朝食等日本にいる気分が味わえる。朝食バイキング付きTW1500B前後。

海沿いにある「Sriracha Lodge Hotel」(NHKTV・ABF付き840B)は海沿いの町を実感出来る好立地にあるが、若干内装が古い。海風受けての朝食はすばらしい。土日夜はプールサイドがシーフードレストランとして盛況となる。

バンコク行きバスターミナル傍に高層の「レムトンHotel」があるが、地元主体とかで訪問せず。

驚いた事にゲストハウスを発見。日本人専門と銘打った「シーラチャ・イン」01-860-6377(日本語予約:沖さん)でシーラチャプレイスとロビンソンの間の通りにある。500～700B。この通りには安い旅行業者や車手配の店(日本人経営)が並んでいる。

マンション

今回滞在したのはネットで問合せた不動産業者アパマン・シーラチャ支店の「アパマンコンド」である。ここの池田支店長が管理人兼務でつめている物件。アユタヤ兼務だが若く親切な青年である。

(twysrcha@ji-net.com Tel:(038)770-955)



アパマンコンド

「アパマンコンド」はこの地の草分け的存在で4階建新旧棟あり、1LDK(55㎡)朝食付き1.7万～2.4万B。ロビンソンの向かい側の小道入った場所で静か、エアコン・NHKTV・バスタブ・キッチン・電子レンジ・湯沸し・ビデオ・FAXと装備完備であった。

たまたま4月末に一室空きが出たとかで、原則

1年以上契約のところを2週間日割り程度でお借り出来た。駐在員向け主体だが空きがあれば相談してみると良いのではないかな。他の物件も扱っており事情把握にまず訪問される事をお勧めします。通りを出た所がパタヤ行き(30分、20B)のバス停です。

海沿いの高層マンションには、「イースタントワー」「パルテール」「カナリベイ」「ラマハーバービュー」等があるが、いずれも1年以上の契約と3万B以上の家賃となる。会社負担の駐在員向け物件である。「ラマハーバービュー」は町外れにあるが、低層と高層建物があり、ペット飼育可能物件である。

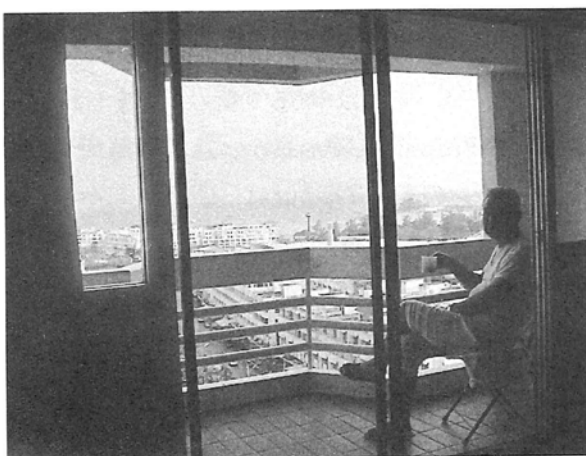
海沿いの「ベイビューコンド」の44㎡のワンルームは1.2万～1.8万Bで6ヶ月でもOKの物件ありとの事で見せて貰ったが、人気沸騰で予約フル状態であった。空室状態はネットで問い合わせOK。

Mrs.NANTAKA (bayview@cnet.net.th)

従来、地元の人向けだった物件で最近日本人も入り始めた物件では、ロビンソンの直ぐ北側にある新築の「パシフィックアパート」があるが、北側の眺望良好側は日本人で満室とか。1階スポーツジム脇に短期宿泊の部屋がある。30㎡960B(月7500～13,500B)、42㎡1440B(月12,000～19,500B)。バスタブなしだが、キッチン机もありほぼ完璧な設備。1ヶ月以上の契約可能で3ヶ月分のデポジット。

(apartment@srirachanakorn.com)

お勧め物件です。「Sriracha Place Cond」



Sriracha Place Cond 11階にて

問合せMrs. KUNG (sriracha@inet.co.th)

ロビンソンから徒歩数分の高層マンション。海側の11階に体験宿泊(900B)したが、ベランダで海に沈む夕日を眺めてのピアチャンは絶景そのもので

でした。設備もバスタブなし以外は湯沸し・電子レンジ・小シンク迄フル装備。月11,000～17,000B(1ヶ月からで2ヶ月デポ)ダブル、ツイン各種あり。空き物件少ないが5月現在11階には2室空きあり。

海の楽しみ

海岸沿いに健康公園があり、通称「江ノ島」のローイ島に続いている。海岸は綺麗ではなく、40分・30分で水の綺麗なシーチャン島に渡る事になる。毎時棧橋から出て日帰りでも気軽に行く事が出来る。シーチャン島に着くと島独特の大型バイク改造「スカイラップ」を利用する。お勧めはネットで有名なNo. 89(98も持ってる)のANIRUT君を指名する事。英語が出来るほぼ唯一の好青年です。



No. 89のANIRUT君の自慢のバイク

有名なホテルは2～3箇所波止場傍の「シチャンパレス」(810B、海側1010B)は近くの中国寺院参拝者向けと言った感じで中国人が多い。この寺院は海外迄有名な寺院だそうで旧正月は満室だそうです。「ビューリゾート」は西側の岩場に面した絶景の清潔な小ホテル。038-216210。この裏側に階段があり海に下りられる。絶好の大物釣り場と中級シュノーケリングの場所だそうで透明度もある。土日には日本人駐在員達が泊りがけで釣りに来るらしい。庭のあるエアコン8室のホテルで800～1400B。別にFAN500Bも2室ある。

海水浴の一般客は皆タムパンビーチだが、岩場の釣りやシュノーケルの穴場がある。「スィー・ピックス」は他人に紹介したくない穴場かもしれない。コンクリのロッジが斜面にあり、FAN500B～700B程度。ANIRUT君が場所へ案内してくれる。全島一周見学3～4時間で250B、タムパンビーチ往復(帰り時間指定)で150Bが公定料金。6pmが船最終便。

隣のバット島は更に綺麗な海で、2島の間でやる筏つりが有名だが、予約方法が見つからず断念。

ゴルフ

工場団地ありでゴルフ場はチョンブリからパタヤにかけて多数です。町から30分以内のところには坂田信弘氏作の人気ゴルフマンガ『風の大地』で有名なバンプラ・インターナショナルGC(平日ビジター料金840B)、プレイヤー設計のシーラチャGC:(410B)、ニクラウス設計のレムチャバンGC(2500B)、ピート・ダイ設計のカオキヨGC(1100B)等あり、会員権価格はレムチャバンGCで30~35万B(100万円)、カオキヨGC15万B(40万円)程度。

<http://www.saturn.dti.ne.jp/%7EEmisao/sriracha.htm>「シラチャ便り」参照-シーラチャ全てに詳しい

パタヤ雑感

ネットの[パタヤ掲示板]と言うHPに「パタヤという街は、基本的に、夫婦連れで滞在する街ではなく、外国人男性が、タイ人女性としばしの逢瀬を楽しむ街です。夫婦連れで来るのでしたら、パタヤから車で20分の所にあるシーラチャという町の方が良いのではないのでしょうか？」とあった。けだし名言!

パタヤは、兎に角大きな街で刺激的、大きく分けると、中央のパタヤビーチ(海岸線2.5km)を挟んで、北側がナクアビーチ(3km)、南側がジョムティエンビーチ(10km)から構成されています。観光客はパタヤビーチに宿泊しますが、ロングステイするにはある程度の静かさが必要で、北のナクアビーチや南のジョムティエンビーチ(共に高層コンドが多数)が向いている。ソントウ利用でパタヤビーチへ安価で行けるのでそんなに不便ではないようです。

シーラチャは日本文化が身近ですが、小さな町でゴルフや釣り以外に刺激がないので、1週間も滞在すると飽きてくるかもしれない。この様な方にはファランの街で日本文化には縁遠いが、パタヤのナクア地区やジョムティエン地区の海沿いマンションがお勧めです。海はラン島が綺麗だそうです。

飛び込みで不動産屋に聞いたら値段・間取りは千差万別、物件も多数あり要望に応じるとの事で調査にならなかった。月5000B位からあるが、10,000B以上を勧めるとの事だった。やはりホテルやサービスアパートメントに1か月程宿泊し自分の足で歩き回って、自分の気に入った地域を決めて業者と相

談するべきと思います。チェンマイの様に日本人の固まった物件も特に無いようです。

パタヤの事なら赤木(A.K.G. TRADING)さん
<http://www.ptty.loxinfo.co.th/~akagi/reserve.htm>
と言われる現地在の業者に相談するのも方法です。彼とは連休前多忙でTELのみで会えなかった。

彼の予約可能のサンシャイン ビスタ(900B)、マリカサービスアパートメント(1000)、パインウッド(1100)やネット情報で推薦の安価なNautical INN(600),EASTINY INN(850), Dianna INN(650), Weekender(500),Markland Hotel(800)等に滞在して探して下さい。その他情報収集は

パタヤ日本人友好会 pjfa01@yahoo.co.jp

<http://machi.gaiax.com/home/pjfa/main>

と言う組織があり、囲碁・将棋・釣り・株クラブもあるそうです。バックパッカーには日本人経営ゲストハウスもあるそうです。YOURI・GH:1日350~450BとM・O・GH:1日600B・月 6000B。

うれしい事に年金族らしき日本人ご夫婦をたまに見かける事が出来ました。

ホアヒン雑感

バンコクの南バスターミナル(サーイタイ)からエアコンバスで3時間128B。列車も快適と聞いた。

ヒルトン・ソフィテル・マリオットと5000B以上の高級ホテルが海岸沿いを占有している。「歩き方」掲載の海岸沿いのGH(Siriwa, Bird)を見たが、寝るだけの部屋で古い。マリオットの先の新しいGH街は海岸傍でネットやレストラン完備で好印象。Nirawan-A GHは800Bで新しく快適だったし、向かいのThipuraiGHも良かったが繁華街に遠い。結局ヒルトンの前のThipurai City Hotelに決定。

info@thipurai-city-hotel.com 032-533-555
Twin1200Bで新築、バスタブとCableTVにNHKないが他は完備。5階の小プールからヒルトンと海が見える。海岸とシーフードレストラン街にも近く好立地。駅やナイトマーケットにも徒歩10分位。

ホアヒン空港を中心にして手前のチャムビーチからプランブリの海岸線に高層マンションが点在している。車がないと不便な印象で調査しなかった。LS地としては、ゴルフ場はあるが王室関係の小さな町で飽きが来るのではないだろうか?

フィリピン L S 適地探しの旅

福岡県在住 会員No. 652 深松 幸康・節子

4月9日～20日 11泊12日間 バギオ、セブ、マニラの3箇所へLS適地探しの旅に出かけましたので感想を含め報告致します。

夫婦だけで海外へ個人旅行するのは今回が初めてです。(いつもパックツアーか、誰かについていく)。しかもフィリピンは28年前に仕事がらみの団体ツアーで1度だけ訪れたことがある程度で殆ど初めてみたいなものでした。このような訳でパンガシナンの齋木さん、セブの鈴木さん、マカティの吉井さんには事前に交通、宿泊、現地での留意事項等詳細な情報を頂き、また現地においても心温まるおもてなしを頂き本当に楽しい体験旅行が出来ました。改めて御礼申し上げます。バギオの会友山田さんにも現地での案内、ゴルフのお付き合いを含め大変お世話になりました。

最初の訪問地バギオですが福岡の旅行会社ではマニラ⇄バギオ(Asian Sprit)の航空券取り扱いが無く、齋木さんからのアドバイスでマニラのネットワークホテル名古屋事務所を通じてやっと購入出来ました。バギオは交通の便が悪いせいかパックツアーの対象にもなっていないようです。従って観光案内や宿泊手配も福岡の旅行会社ではいっさい出来ない状況でした。

4月9日10:00チャイナエアライン福岡発台北経由便で出発、マニラに15:30到着。マニラ→バギオは1日1便朝9時発ですの前泊が必要。航空券の受け取りもあるし空港に近くて送迎付きのネットワークホテルで1泊した。(ツインルーム、朝食付きで60ドル)ここは日本人向けのビジネスホテルタイプでスリッパ、ヘアドライヤー、NHKテレビ受信、日本語新聞等のサービスがある。泊り客は日本人男性の団体が多く、ロビーやレストランでは現地女性とのカップル姿がやたらと目に付く。ホテル周辺的环境もあまり良くないので連泊するには向かないようです。

しかし利点もある、マニラから航空機で移動する場合は空港まで15～30分、送迎付きな

ので便利が良い。ホテル内のサウナも無料で利用出来るし、マッサージも本格的(1時間440ペソ)。日本人スタッフ(井出さん)が常時フロントデスク近くについて、いろいろサポートしてくれるのも有難い。食事はホテル内の日本食レストランを利用。カウンターの中では日本人の板前さんが調理しているので味はまあまあ、有名ブランドの日本酒も置いてある。客の大半が日本人みたいでそれなりに値段は高い(現地の値段としては)。メニューは豊富ですが単品より定食が無難。ホテルのカフェレストランは止めたほうがよい、Tボーンステーキを注文したが硬くてまずくて食べたものではなかった。

4月10日マニラからバギオへ出発。飛行機(アジアン・スピリット)は40人乗りの4発小型プロペラ機でフライト時間は50分。天候にも恵まれ殆ど揺れることも無く快適な空の旅でした。雨季の間はこの飛行機も欠航しバギオへの交通手段はレンタカーや6～7時間かけての長距離バスになるそうです。

バギオ空港に着くと目印に「南の会」会報をもった齋藤さんが迎えに来られ、初対面のご挨拶。その足でマニラからバギオへ通じるケノン道路の「建設記念碑」を訪れた。ケノン道路は1世紀も前にアメリカ植民地政府と2000人余りの日本人労働者(労働力と技術)の協力によって建設されたそうで、難工事のため多くの犠牲者が出たことが記されている。「バギオと日本人(人)の関わり、歴史」について齋藤さんからいろいろ教わりながらショッピングモール、マーケット、バギオ日本人協会施設アボンを見学。途中、会友の山田さん宅にもお邪魔して夕方セッション通り近くのプリンスプラザホテル(ツイン朝食無し1700ペソ、3400円)にチェックイン。

バギオは今が夏真っ盛りというのに高原の風は南国とは思えないほどさわやかでとてもしづやすいところでした。ホテルにはクーラーの設備はありません、扇風機で充分のようです。夏の間、政府関係の仕事はマニラからバギオに

移されるところからサマーキャピタルと呼ばれるそうですがなるほどなぞけます。特にバギオからマニラへ移動した時その温度差を実感しました。

標高1500mの高原の街は松林(三葉の松)が多く、いたるところに大小の別荘があります。多くはマニラのお金持ちが所有とのことですが何処か日本の高原避暑地を思わせる風景でした。

気候は良いし(年間平均気温20度)、市場やスーパーマーケットには新鮮な野菜や果物が豊富(バギオは野菜、果物の名産地)に並び値段も安い、肉類は鶏、豚肉が美味しい。気候が良くて野菜が豊富な点は年輩者にも暮らしやすい環境と感じた。

2日目、3日目は斎藤さんの計らいで貸し別荘に宿泊、斎藤さんご一家とも楽しい一時を過ごす事が出来ました。奥様の手料理で会友の山田さん、友人の上原さんとも一緒に食事ご馳走になりましたが、燻製風の鮭をフライパンで焼いた料理はなかなかいける味でした。教えていただいたバゴオン(調味料)はそのまま食べても酒のつまみとして結構いけます。2個買って帰りましたが我が家でも重宝しています。



バギオの貸別荘

バギオ市街地の近くにはキャンプジョンヘイ(旧アメリカ軍基地?)があり、その周辺一帯が公園や植物園になっている。広大な敷地には歴史記念館、ホテルやコテージ、ゴルフ場(隣接して2箇所)、ミリタリーアカデミーなどがあって観光客や市民の憩いの場となっている。

ライト公園には馬場があって、大勢の大人や子供達が乗馬を楽しんでいる。我々も斎木さんご一家と一緒に道路のコースを1時間かけて300ペソ(600円)でおおいに楽しみました。初めての人でも安心して満喫できる。家内も乗馬は初体験でしたがちゃんと馬を引いて誘導してくれるガイドがいたので安心してしっかり楽しんだようです。

2日目の午後は家内が斎木さんご夫婦の案内で市場や市内見学している間、私は会友の山田さんとジョンヘイカントリークラブでゴルフをプレイ。難しいグリーンにもかかわらず何故か好スコアが出てつい翌日もバギオカントリークラブ(100年の歴史を誇る)でプレイしてしまいました。距離は短いのですが小さい砲台グリーンが多くて、なかなかの難コースでした。もちろんスコアはメタメタでした。



バギオカントリークラブ

このバギオカントリークラブハウスのテラスはレストランになっていて3日目の夜はクラブメンバーの山田さん、斎木さんご一家とビュッフェ形式の夕食をご一緒しました。自然の風をうけ、コースを眺めながらの食事は味も雰囲気もご機嫌で素敵な一時でした。

バギオにはアボン(北ルソン比日友好協会の通称)という建物があります。バギオ在住の日本人の方たちが何かにつけて集う場所で宿泊も出来る施設だそうです。ここでバギオ日本人会やバギオと日本に関わる歴史、比日友好に貢献された方たちについてパネル写真を見ながら説

明頂きました。こちらを管理されている尾辻さんは病院を退院されたばかりなのにに対応して頂きました。1日も早いご回復をお祈り致します。

今回の滞在中、実は斎木さん、山田さんはバギオ日本人会メンバーの方の葬儀でお忙しい中でした。その様な状況で私共のお世話を頂き申し訳なく思っております。バギオ日本人会の尾辻さん、野沢さん、上原さん、大坪さん、土屋さん、との出会いも楽しい思い出になりました。またゆっくりと出かけて行きたいと思います。今度は6~7時間かけての長距離バスでのバギオ入りを体験してみたいと思います。

気候が良いのもさることながらゆったりとした時間の流れや純朴な人々の笑顔がバギオの魅力かもしれません。交通の便が悪いのも観光ズレしないでもいいのかもしれないと感じました。今回は4泊と短い滞在でしたが気候、治安、食事、住居、人柄、医療その他サポート体制など総合的にみてLS(3~6ヵ月)先の有力な候補になりました。

14日は午前中マニラへ移動、再度ネットワークホテルへチェックイン。午後はガイド付きレンタカーでマニラ市内の半日観光(教会と要塞めぐり)に出かけた。あまりの暑さにバテ気味で早々に切り上げ冷房の効いたホテルでゆっくり休むことになった。はやくもバギオの涼しい高原の風が懐かしい。

15日マニラ→セブはジェット機で1時間10分、宿泊はセブ市の中心地にあるセブミッドタウンホテル。ここはオスメニャ・サークル前のロビンソンデパートに隣接するビルにあり交通の便が良く買い物にも便利なホテルでした。

鈴木支部長さんのおかげでとても安い料金(ツインベッド朝食付きで1600ペソ3200円)で泊まりました。旅行社の人曰くこの料金は鈴木さんの顔で格安とのこと。

このホテルに4泊しセブ市内、マクタン島リゾートを探索して周った。到着した日は鈴木さんにわざわざホテルまでおいで頂いて、セブに

関する生情報や注意事項など詳しくお話頂きました。お忙しい中本当にありがとうございました。また旅行社SPI平野さんをご紹介頂き大変助かりました。事務所がホテルの階下でしたので何かにつけ相談に行きましたがその都度親切に対応して頂きとても心強かったです。

2日目はバンカーボートと呼ばれる船でマクタン島沖のアイランドホッピングを体験。我々二人だけでしたが平野さんに案内頂き、セブの生活情報やいろんな裏話を聞きながら1日楽しく過ごしました。シュノーケリングスポットではいままで見たことも無い美しい珊瑚礁や熱帯魚の群れに感動しました。残念ながら家内はボートから離れることが出来ず(カナヅチが故の恐怖心から)せつかくの醍醐味も殆ど味わうことが出来なかったようです。私は次回来る機会があれば是非スキューバダイビングにも挑戦してみたいと思っております。

5人のボートスタッフの他に調理係りのオバさんが同伴、島に上がると早速バーベキューでの昼食の準備。カニ、エビの塩焼、スパイスの効いた甘辛い味付けの串焼き(鶏と豚肉)をバナナの葉っぱにたっぷりと盛りつけて屋外テーブルに運んでくる。デザートは完熟マンゴーとスイカ、バナナ、どれも美味しくてポリウム万点の内容でした。また、ヤシの木陰で飲む冷えたビールの味も格別でした。ホテルからマクタンまでの送迎、シュノーケリング用具やライフジャケットの借賃、ボートスタッフへのチップ等すべて込みで二人で10000円(割引料金)でした。

ホテル周辺のショッピング街を見て回る時の食事は主にデパートの階下にあるフードコートを利用しました。皿や鉄板に肉、魚、野菜のオカズとご飯が乗った定食風のメニューが60ペソ(120円)前後、上からかけるソースの種類がいくつかあって好みで選べる、これが実に旨い。鉄板がおすすめ。

鶏の丸焼き(照り焼き風)が透明なグリルの中で香ばしい香りを立てながら回転している。

1羽140ペソ(280円)二人では食べ切れないので半分(70ペソ)を買い、食べやすくカットしてもらい、ビールはすぐそばにあるスーパーで350ml缶ビール20ペソ(40円)前後を4本調達、一回の食事代はしめて290~330ペソ二人で600円前後とビックリするほどの安さである。もちろん味も量も充分満足できました。

三日目にちょっと贅沢しようと例の平野さんから聞いて行ったセブ市内の「グランドコンベンション中華料理店」は是非お勧めの店です。蒸した蟹(蟹の種類は分からない)、塩味でボイルしたブラックタイガーエビ、鳩のミンチと椎茸、竹の子(みじん切り)などを炒めレタスでくるむ..を食べながらビールを飲み二人で1200ペソ(2400円)、素材の良さを生かしたあっさり風の味付けは抜群でした。(グルメ旅行記みたいに食べ物のお話ばかりですみません。)

マクタン島のリゾートも一度は泊まってみたいといくつかホテルを探してもらったがいずれも満室。止む無く日帰りコースにしてレンタカーでマリバゴ・ブルーウォーター・ビーチ・リゾートへ向かう、入場料350ペソ(700円)を払ってプライベートビーチを体験。家内は海が苦手なので今日は別行動。私だけ一人淋しく泳いで来ました。さすがにプライベートビーチは清掃も行き届き、真っ白の砂浜と薄グリーン色した海のコントラストがとても印象的でした。

海上には屋根だけ付いた吹きさらしのマッサージ用の小屋があった。マッサージ嬢からさかんに誘われたが余り時間も無いので見るだけにした。海風に吹かれウトウトしながらのマッサージは最高だったにちがいないと少し後悔した。海上やプールサイドのレストランでは生演奏を聞きながら食事ができる。従業員の対応も良いしシャワールームなど設備も整っておりとても快適なリゾートでした。

バンガロータイプの宿泊料金は1室200~300ドル(日本のガイド本)と少々高いが宿泊して1~2日リッチな気分ですっきり過ごすのもいいかなと思う。

セブ、マクタン島に関しては海の苦手な家内と海が大好きな私とで自ずと評価が分かれてしまった。次回はもっとゆとりのある日程でボホール島、パングラオ島にも行ってみたい。

19日セブ→マニラへ移動、空港からタクシーでマカティへ。会員の吉井さん宅で宿泊。吉井邸のあるサンロレンソビレッジは上層階級の豪邸が立ち並ぶ住宅地で、40年前につくられたそうです。周りは塀で囲まれ、いくつかある入り口はガードマンによって厳重に警備されている。ビレッジ内は大きな樹木や南国の花がふんだんに植えてあり良く手入れされている。チリー一つ落ちていない道路や豪邸の車庫にはやたらと高級車が目に付く。今まで見てきたマニラ市内の下町の様子、特に貧困層の家並みからは全く別世界の光景でした。またビレッジから徒歩でいける距離に素晴らしい大型ショッピングモールや高層ビジネスビル、有名ホテルが建ち並び、まさに高級感漂う街並みというのがマカティの印象です。一度は住んでみたくくなるような整った環境でLSするならマカティもいいなと感じました。

吉井さんご夫婦にはショッピングモール内のスーパーマーケットや世界の有名ブランド品店やしゃれたレストラン街をご案内頂きありがとうございました。次回お伺いする時はお勧めの店で是非ラテンミュージックの生演奏を聞きながら夕食を試みたいですね。そして吉井さんのギター演奏(禁じられてた遊び)も是非聞かせてください。今回は残念ながら聞きそびれてしまいました。

20日の朝はビレッジ内を吉井さんの日課である2匹のワンちゃんの散歩にお供した。奥様の手作り朝食を頂き、もう少し留まりたい気持ちを抑えながら福岡への帰路についた。

長々とつたない文章でレポートしましたが、出発前に抱いたフィリピン、マニラ、マカティ、バギオ、セブのイメージは実際現地へ行ってみて確実にアップしました。もちろん良いところばかりでなくいやな部分もありましたし、大統領選挙の最中で少シテロの恐怖を感じながらの旅でしたが現地在住の会員、会友の皆様のおかげでトラブルも無く本当に楽しく過ごすことが出来ました。感謝、感謝です。正直言ってまた行ってみたいと思っています。

現地の会員、会友の方々と直接会ってお話を伺うのはとても楽しみです。「またどうぞ来てください」と言われるよう感謝の気持ち、マナー、自己責任のキーワードを肝に銘じこれからもLS適地探しの旅を続けたいと思います。

バギオこそ ナンバーワン!

バギオ在住 会友 山田 勝也

私達夫婦はフィリピンの退職者ビザを取得して、ルソン島北部のバギオ市に住むようになってもう6年にもなります。

「南国暮らしの会」の会友になった事で会報を拝読する機会を得ましたが、残念なことに会報にはバギオについての記事は少なく、また会員の訪問者も余りありません。

会員番号から推測して七百猶予名の在籍者が居られるにもかかわらず、私達の住むこの素晴らしい南国の高原都市バギオに関心を持つ会員が少ないように思われますが何故でしょうか？残念で仕方ありません。

私達はバギオこそが、第二の人生をエンジョイ出来るナンバーワンの場所であると固く信じています。私達自身が何年もかけてタイ・マレーシア・台湾・韓国・香港それにフィリピンなど各国の色々な場所にショートステイを繰り返して適地探しを続けてきました。

その体験から、バギオに勝る場所は他に無いと確信しています。

何がそんなにいいのかと聞かれましたら、あまりにも沢山あり過ぎて返答に困り「全てがいい」と答えるでしょう。

南国でありながら熱帯特有の病の心配が無く、一年を通じて全く冷房の世話にならずに生活が出来、日中は太陽の下でも汗一つかかずに大好きなゴルフや屋外スポーツを存分に楽しむことが出来ます。

健康の源は快眠・快食・快便といわれますが、クーラーいらずで快眠し、“フィリピンのサラダボール”と呼ばれ地場産の新鮮で安価な野菜、例えばゴボウ・ほうれん草・なす・長葱・生しいたけ・大根・人参・キャベツ・レタスそれに苺と日本かと思ふ程の品が市場に並び、調味料が全て揃うので和風の家庭料理がいつでも味わえて快食、その結果は快便となり快適な日々を過ごすことが出来ます。

そして何よりも、世界一の発行部数を誇るかのニューズウィーク誌が、世界十大リゾートの一つにここ、バギオを選んだ事でもご推察いただけるように、ロングステイの適地であり、私達が自信を持ってお勧めする根拠となっていま

す。

外国に住んで不安に思う事の一番は、いざという時に頼れる場所の有無だと思います。

特に日本人にとってのプラス要因として「バギオ日本人会」とAbong=アボンの通称で知られている「北ルソン比日友好協会」の事を語らねばならないと思います。

協会は、日系二世のカルロス・寺岡氏が長年に亘り理事長を勤めておられ、妹さんのマリエさんとスタッフのお一人で日本人会のメンバーである尾辻さんが、お忙しい寺岡氏を補佐しながら訪問する日本人のお世話をなさっています。バギオに住む日本人は事あるごとにアボンに出向き、色々と相談したり、情報交換をし、ときには食事会をしています。このようなバックボーンに守られ、御蔭で我々は心丈夫で安全に6年を過ごしてきました。

カルロス・寺岡氏はフィリピン日系人協会の会長であり、世界で6人しかいない名誉総領事として日本政府からの任命を受けての職務にも付いておられます。平成15年度の秋の叙勲で、全世界の日系人初の授章者となり旭日中綬章を受けられました。

この方のご活躍はBS2 日曜スペシャル「日系人の誇りを守りたい」のタイトルで、彼が私財を投じて設立なさった“日系人互助財団”をテーマに据えて放映されました。日比親善にご尽力なさり、この人なくしては日比友好は有得ません。このVTRと、バギオとは切っても切れない奉仕者シスター・海野さんのVTRを、貴会の理事 高澤氏にお渡ししてあります。是非是非ご覧下さい。

外国に住むには現地の人とのコミュニケーションが大切と書れた方がおられましたが、わが日本人会は年に数回ある市内のフェスティバルやパレード、国際デーの基金集めのパーティーには必ず参加して地元との交流を深めています。このように協力を惜しまずに活動を続けてきたので、ベンゲット州選出の国会議員やバギオ市長とも大変親しくしています。

会の活動の一環として、今年はフラワーフェ

スティバルのメインイベント“フラワーカーパレード”に挑戦しました。

毎年、2月1日から末日までの一ヶ月間を「フラワーフェスタ」と銘うって、フィリピンでも有名な大祭典が繰り広げられます。

お祭り好きなフィリピン人が必ず行うパレード。今年は2月21日でしたが、PMP(国立軍隊学校)を先頭にして、近隣の小・高・大学生・バラングイ(最小行政区)・各種団体がブラスバンドにダンスを加えて、花をテーマにしたのコスチュームで参列し、原住民族の踊りや、バギオ市に住む外国人が民族衣装を纏って芸能を披露しながらの行列ありと、何千人もの参加を得て一日かけてメインストリートを通り歩く様子は圧巻でした。夜にはフィリピンでは珍しく大花火大会が催されました。

明けて22日がフラワーカーパレードでした。それぞれに意匠を凝らしたデザインで、生花で飾った車約30台が、市の中心部をパレードしました。長い歴史のある祭典で、移住して日本人社会を築いたころ結成された戦前の日本人会はいつも優勝していたそうです。戦後の日本人会としては初の参加でした。

わが会はトラックの周囲を生花で飾り、フロントに花笠を、サイドには“JAPAN”の赤いバラの文字、バックに富士山の図柄。何と言っても見せ場は荷台の飾り付けです。竹で作った太鼓橋を架け、和服を着た娘さん7人が絵日傘を翳して笑顔で手を振り、東屋を設置して提灯を飾った内で和太鼓を打ち鳴らしながら約4Kmをゆっくりと行進しました。



この車に使用した生花は薔薇で、1,200ダース14,400本、製作日数10日、延べ92人の人手を費やした大仕事でした。しかしこのコンテストで優勝した花車は、日本人会が製作に使用した本数の約10倍の13万本とききました。ボリュームでは負けましたが、観客の人気は一番と自負しています。素人カメラマン大勢がシャッターを切り、TVは二回も映像を送ったそうです。

バギオ市の人口23万人。この日は30万人の観光客が訪れたと発表されました。その人々に日本を、バギオ日本人会を強烈にアピールできたと思います。



しかし、来年の参加は断念しなければなりません。何故ならば、金銭はいうまでもなく肉体的にも会員の負担が余りにも大き過ぎるからです。バギオ日本人会は2月の会員数がたったの12世帯の小さな団体です。しかも皆が裕福であるわけではなく、大きな行事を企画する度に会員から寄付を募るようでは長続きしません。

南の会の皆様、第二の人生を過ごすには是非バギオに来て下さい。そして、来年・再来年と伝統あるこの祭りに参加しようではありませんか！！

また23日には、市の中心にある公園で“Philippino-Japanese Day”を開催してほしいとの急な要請があり、何とかして日本色を出さねばと会員一同で頭をひねりました。たまたまアボンに提灯や鯉幟があり、また芸術的な折り紙の作品がたくさん保管されていたのをお借りして会場の飾り付けをし、これもまたアボンから頂戴したヨウヨウでの釣りと金魚すくいの要領でゴム

ボールすくいを集まってきた子供達と、ほかに大人を交えて輪投げ、新聞紙での折り紙、和太鼓の試し打ちをして遊び、舞台では着物を着た高校生による「里の秋」「故郷」のコーラス、優雅に「さくら」を踊り超満員の観衆から大喝采を受けた事もお知らせしておきます。



他の国にお住まいの「南国暮らしの会」の皆様をも含めて、バギオとはどんな所なのかと疑問をお持ちの事でしょう。そこでバギオについての地理や歴史を簡単に紹介しましょう。

バギオ市はマニラの北方250Kmに位置しており、バスで7時間、飛行機で50分の標高1,500mの高原都市です。年間の平均気温が20℃、最高気温26℃と居住するには快適な所です。この冬(?)に何年ぶりかの9℃を記録して新聞・TVのニュースで話題となったほど温暖な地です。

町の至る所に三葉の松が生い茂り、花が咲き乱れていることから、別名をポイントゥリーシティーまたフラワーシティーと呼ばれています。少し前までは3~5月の夏季に、政府機関が移動して政務が執られたサマーキャピタル(夏の首都)でした。

近隣の村は「フィリピンのサラダボール」と評されているように、高原野菜を主に、日本の種で栽培された多種多様の野菜や果物が実り、物流のおかげで他の市町村からの買い付け業者が運ぶ、南国特有の野菜や果物、魚が豊富に入荷する街です。

「Clean, Green, Safety」が市のキャッチフレーズで、歴代の大統領、政財界人の別荘が点在しており、夜には日本では見られなくなった満

天の星空。近くには温泉が湧き溢れ、車で一時間半ほど山を下ればそこはもう南シナ海の真っ只中。エメラルドグリーンに輝く海。ヤシの葉茂る南国のビーチなのです。

フィリピンの人々が一生に一度は訪れたいと願い、新婚旅行のメッカで観光都市である半面、7校の有名大学がある学園都市でもあります。

皆様方が耳にするフィリピンのニュースとはかけ離れた別世界で、大勢のアメリカの退役軍人が余生を楽しんでいるフィリピンのアメリカ。そこがバギオ市です。

そんな山奥に何故このような別天地があるかと不思議に思われるでしょう。こんなに発展したこの町には、日本人また日系人にとって、辛くて悲惨な歴史があるのです。

1898年、当時の宗主国であったスペインからアメリカが自治権を買い取ったのですが、首都マニラの余りの暑さで体調を崩す者が続出しました。そこで高原のバギオに目をつけたアメリカ政府は、一大保養地としての開発計画をたてました。(この事実一つを取り上げてみるだけでも、バギオでの生活条件が良いことが立証されると思います。)

そのための道路工事に着手しましたが、山を崩し岩を砕きの仕事は、機械はもとより便利な道具も無い時代、言語に絶する難工事でした。世界の十数ヶ国から集められた労働者の手によって工事が進められましたが、せつかく架けた橋は、未熟な技術や災害によって幾度も壊れてなかなか工事が進まず、責任者が度々交代させられたそうです。

1903年、工事責任者のケノン少佐はこの事態を打破するために、大国ロシアに勝利した底力、カリフォルニア州の荒地を開拓した勤勉で技術の高い日本人に着目し、米政府の反対を押し切って採用を決断しました。

2,600名の日本人労働者は特に難所を受け持たされたため、犠牲者が一番多く600名とも700名とも言い伝えられています。日本人の技術がなかったらケノン道路の完成は不可能であったろう。地元の人々は感謝を込めて「ケノン道

路は日本人が造ってくれた！」と語ってくれます。

昨年2003年2月20日、バギオ移民100周年の記念式典が盛大に執り行われました。国会議員日比友好連盟を代表して、元外務大臣中山太郎議員、駐比高野大使をはじめ工事労働者の遺族、支援団体などから200余名の出席をえての式典のもようがNHKTVニュースで放映されました。異国の地に散った御霊を慰めるべく、山に谷に響けとばかりに和太鼓を打ち鳴らすシーンをご覧になった方もおありでしょう。

その後、ほとんどの労働者は帰国せずに半数がバギオに定住し、現地の女性と結婚して豊で幸せな日本人社会を築いたのです。

元々はアメリカ人のために造られた町なので、彼らを相手にホテル・レストラン・タクシー会社などを経営して財を成し、バギオのメイ・ンストリートであるセッション通りは、全てが日本人所有の店舗や住宅であったそうです。

しかし、その幸せであった日本人社会が、あの第二次世界大戦により天国から地獄へと突き落とされて崩壊してしまっただけです。

戦時中の日本兵が犯した残酷な行為に対する報復として、地元民は日本人の血を引く者を次々に殺害していったのです。それは耳を引きちぎったり鼻を削ぐ、目を刳り貫くなどと言った残忍な方法がとられたそうです。平然と赤ん坊を銃剣で刺し殺して放り投げる、食料を略奪するだけでなく、若い娘さんをレイプしたあげくに村人全てを虐殺して村を焼き払った日本兵に対する恨みが、このような行為となったのでしょう。戦争で亡くなった人の数より、戦後に殺された人のほうが多いといわれています。

私達バギオ日本人会は、僅か12世帯の小さな団体ですが、二人の小学生に奨学金の援助をしています。

アボンでは生け花教室、日本語教室を時々開講しています。私達は英語が出来ませんが、日本語だけでよいという事で、高校生に日本語での会話(名古屋弁?)や日本の話をしたりしています。

貧しい国フィリピン、日系人の生活が少しは改善されたとはいえ、まだまだ学校にいけない子供が沢山います。

昔、わたしが覚えた歌に「例え今日の日 不幸でも、明日は来るぞ幸福が。まばゆいようなその明日・・・」という歌詞がありました。日本も今のフィリピンと同じく貧乏な時代があった。だけど勤勉さで貧乏に打ち勝ってきた。その日本人の血が君達の体に流れている。それも20世紀最大のプロジェクトで最大の難工事といわれるケノン道路を造った日本人の血が。だから明日を信じてください。そのために今日を真面目に生きてくださいと子供達に語りかけています。

南国暮らしの会の皆様、クダラナイと言いつ気はありませんが、タイやマレーシアetc.ではなく、フィリピンのバギオへ来て下さい。我田引水と受け取られるでしょうが、永住の地を求めて各国をショートステイした経験から、これほど充実して、これほど素晴らしい所があったのでしょうか。それに、当市と埼玉県羽生市が姉妹都市となってからは、毎年交換留学生が行き来しています。戦前の日本との交流と同じく、非常に親密な関係が構築されているバギオ市です。

今も昔も、日本と深い関わりのあるバギオ。日本人が開いたバギオで第二の人生を送ってみませんか？

バギオはフィリピンの中のアメリカ、そしてフィリピンの中の日本なのです。

長い文章になってしまいましたが、最後までお読みくださってありがとうございます御座いました。

それでは皆様、体に気を付けて長生きしてください。

Block7, Lot9, Ciudad Grande Phase 2
Bakakeng, Baguio City, PHILIPPINES
E-mail baguiokjeb@aol.com 山田勝也

「南の会 碁(GO)ネット」立上げ日記

東京都在住 会員No. 700 安藤 公二郎

遊びの神様

今、思い起こすと、「南の会 碁(GO) ネット」が立ち上がったのも、神様の遊びだったような気がしてなりません。今も、多分に、進行形ですが・・・。

我々の眼には見えないけれども、“遊びの神様”が居て、色々な遊びを作り出す人間をこしらえたり、遊び仲間を寄せ集めたりしているんじゃないかと、思われてなりません。

もう一つ、「碁(GO) ネット」立上げに影響を与えたものは、『熱望』かもしれません。

「願望は、強ければ強いほど、叶えられる」と、心理学者とか宗教家が言っているように、熱望がエネルギーを生み、望んだ物を創造するのかもしれない。

因みに、囲碁の会やその他の遊びの会などの「仲良し会」を作ろうと、最初に熱き声を発せられたのは、池田理事長(現会長)だと思えます。南国暮らしの会・新年号(VOL. 23)で熱く語っておられます。

何れにしましても、遊びの神様と池田理事長の熱望とが光合成して、「仲良し会」の1つが産声を発したわけでございます。

遊びの神様の第一手 ●二人の出会い○

池田理事長と安藤の出会いが発端となって、囲碁の会をつくることになりましたが、どうやら遊びの神様が面白い出会いの場をこしらえたようです。

今年2月14日に関東支部サロン会が開催され、懇親会がいつもの「フェスタガーデン」で80名の会員を集めて盛大に開かれました。

私は仕事の都合で懇親会のみ参加となりましたが、開催時刻に少し遅れて会場に着きますと、既に満席の状況でした。

当時、私の方から気軽に声を掛けることが出来た南の会の仲間は未だ少なく、たまたま空き席を見つけると、仲間に入れてもらうことにしました。

「失礼します。700番、安藤です。ここに座ってもいいですか？」

「どうぞ、どうぞ。お座り下さい」

池田理事長のあのニコニコ顔に、孤独感は一瞬と吹き飛んでしまいました。

周囲の先輩たちも、皆さん親切で、気持ちよく仲間に迎えてくれました。

嬉しくて、つい、呑みすぎて、食べすぎて、饒舌になりすぎてしまいました。

会が盛り上がり、飲・食・歓・談が一巡した頃、池田理事長が立ち上がって会員を前に挨拶されました。(内容は記憶から遠ざかっていますが)結びの言葉を言われた後で、

「皆さん、700番の安藤さんをご紹介します」

突然、自己紹介をするように促されました。酔いが一気に加速しましたが、逃げの妙手も見つからず、已むなく、趣味の話をして早逃げの手に出ることにしました。

「700番の安藤です。趣味は囲碁で、弱い6段で打ってます。最近、デジカメに興味を持つようになり、パソコンで編集して楽しんでます。」

ようやくこれだけ言い終えて頭を下げますと、大きな拍手と笑顔が包んでくれました。いや〜っ、本当にもう、年甲斐もなく恥じらいだ気分になりました。

「南の会の人たちって、なんていい人ばかりなんだ！」

入会して本当に良かったと、この時、心から感じました。

自己紹介を終えて椅子に座ると、

「安藤さん、6段なの!? 囲碁同好会を立ち上げてよ！」

池田理事長の強い視線と熱弁が、目と耳に熱気を吹きかけてきました。

「やりましょう。やる以上は、うんと面白くしましょう！」

(酔っていて、豚も煽てりゃ木に登る、好例でした。具体策なんてありゃしません)

かくして、「遊びの神様の第一手」が打ち下ろされたのでした。

余談

私が囲碁を始めたのは、社会人になった初日でした。囲碁に関する一密かな夢も抱きました。

囲碁のルールも分からない状態でしたが、ひたすらプロの打ち碁を碁盤に並べ、解説を読み耽りました。碁石を並べるほどに、何とも不思議な、囲碁の持つ不思議な神秘性に魅せられ、虜になりました。

囲碁を知ったその日から、私の人生は2倍、いえ、もう限りなく楽しいものになっていきました。毎日毎日、来る日も来る日も、新鮮な一手との遭遇があり、新たな碁友(碁敵)との出会いがあり、ワクワクする日々の連続となりました。

池田理事長の一言は、社会人初日の夢と重なり、軽快な行進曲の響きとなって聞こえてきた訳でした。

遊びの神様の第二手 ○地図から生まれた立上げイメージ●

サロン会の翌朝。南国メールを読んで、南の会の仲間がロングステイしている都市の様子を想像してみたり、冒険(開拓?)旅行の手記(メール)から現地の様子を地図上でそこはかと再現していました。こうすると、一日の始まりが楽しくなります。次に、新聞の囲碁欄に目を通すと、世界囲碁大会が紹介させていました。世界の60カ国・地域の代表が競う一大イベントです。読んでいるうちに、「将来のロングステイ地で、地元の子供たちに囲碁を教えて、世界大会に出場させてあげたいな〜!」

と、自分の将来の夢が、はっきりと脳裡に刻み込まれていきます。

この時の気分は、嬉しいとか楽しいとかとはまたちょっと違って、体中の血がどんどん若くなっていくのを感じます。

このような感じで世界地図を眺めていたら、大きな家で大勢が楽しく碁を打っている情景や、地元の人たちと手談を交えて碁を打っている仲

間の顔が、浮き上がって見えてきました。

「碁友を増やして、ネットワークを作ろう。いつかプロにも協力してもらえるような体制を作ろう。ステイ先の地元の人たちとの交流を深める一環としての遊びの場を作ろう・・・」

こうして、地図上に囲碁同好会のイメージが浮上してきました。

遊びの神様の第三手 ●詰め碁の掲載○

財団法人日本棋院(囲碁の本部)法人課に電話して、法人会員用の資料の送付をお願いしました。また、海外室からは、「外国の碁会所」の所在地を教えてくださいました。両者とも早碁のように迅速に対応して下さり、感服しました。

囲碁が文化として定着している日・中・韓・台湾は別格として、それ以外のアジアの国では、タイに碁会所が多く在り、日本人滞在者数とほぼ正比例していることが分かりました。

タイでは、漫画「ヒカルの碁」がタイ語で出版され、昨年は子供たちの間に囲碁ブームが起きたと、テレビでも紹介されていました。ある喫茶店などは、先を読んで碁盤と碁石を持ち込み、碁会所への振り替わりを演じたそうです。(振り代わりの結果はどうだったか、ですって?・・・「神の一手」でしょう)

3月の関東支部サロン会では、池田理事長と囲碁同好会の話の話をし、冷酒も爛酒に変化するほどに、熱く語り合ったのを覚えています。「安藤さん。会報の春季号に《詰め碁》を載せようよ」

(池田理事長という人は、思ったことを行動に移す速さは、常人ではありませんね)

この後、猛烈なスピードでことが進み、《詰め碁》の掲載に至りましたが、二人が交わした着手(情報交換)の速さは、さながら烏鷲(黒と白)の乱舞のようでありました。

(詰め碁の掲載にあたり、春季号を担当された平尾守満理事には、特殊記号の入力などで大変ご面倒をおかけしました。ありがとうございました。夏季号では、龍野宏理事に同様のご面

倒をおかけします。よろしくお願ひいたします)

その後の数日間は、烏鷺の乱舞に関東支部・宮崎哲郎支部長のふっくらとした岡目八目が加わりまして、4月11日の関東支部総会・サロン会で「囲碁同好会」の立上げを発表する段取りが決まりました。

お二人の間で色々と調整されたことと思いますが、私の読みの及ぶべくもありません。きっとご一緒に「詰め碁」を解かれたんだと思います。

遊びの神様の第四手○南国里見八人伝●

サロン会で、囲碁同好会の「立上げミーティング」の開催を発表いたしますと、流石に南の会の人たちの反応は早く、直ぐに有志が参集しました。

仮ネーミングは、「南の会 碁(GO)ネット」テーマは、「若さを保ち、友を増やし、楽しみを増し、ストレス解消」

5月15日(土)。 巣鴨・アーバンハイツ2階集会室。

八人の有志が「立上げミーティング」に集まってきました。

① 003 池田徳三郎、② 239 伊藤寛、③ 321 小林善作、④ 479 中緒正、⑤ 586 磯崎興志、⑥ 665 浦野晴介、⑦ 700 安藤公二郎、⑧709 岡野征夫、多士済々。

「忙中閑有り」「壺中天有り」「意中人有り」の言葉がピッタリの人たちばかりです。

「南総里見八犬伝」ならぬ、「南国里見八人伝」の始まり、はじまり～、です。

八人の心は一つ。直ぐに話は纏まりました。「南の会の会員は、南国世界の至る所に分散して居住しているけれども、心はいつも一つ。囲碁を通して新たな友達をつくり、一緒に楽しみ、そして、永遠の若さを保つための、素晴らしい触れ合いの場、ネットワークを作っていこう」

こうして、正式名称は「南の会 碁(GO)ネット」に決まりました。将来展望も明確にし、各自が持ち味を発揮する、役割も決まりました。

(一本締め!)

初心者歓迎!皆で楽しもう「碁(GO)ネット」!

「南の会 碁(GO)ネット」は、一人ひとりの会員のための楽しい遊びの場です。囲碁が初めての方のために、「初心者囲碁教室」を開催しています。

囲碁の神秘性にちょっと触れてみてください。これからの人生が一変すると思います。一日一日が、より一層、充実したものになるでしょう。

支部交流囲碁大会も、遊びの神様が考えている「次の一手」です。着手の時期は、遊びの神様が最良の場面で見せてくれることでしょう。どうぞ、楽しみに、お待ち下さい。

遊びの神様の更なる「次の一手」は?...

「あなたの、出番ですよ!!」

○●「南の会 碁(GO)ネット」は、サロン会の午前中に開催しています●○

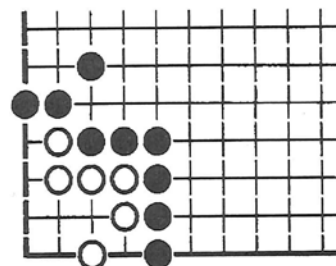


詰碁問題 黒先

10分で3級くらい

ヒント:急所に打ってダメヅマリねらい。

(日本棋院編集部選)



(解答は 53ページに)

海外渡航先での病気について

東京都在住 会員No. 709 岡野 征夫

これまでいろいろな国に駐在し業務に携わっている内に自分で経験した諸々の病気について書いてみました。



最初の病気はマレーシアのクアラルンプールに駐在中、KL近郊のPJ（ペタリングジャヤ）のSea parkと言うところに一戸建ての庭付きの家を借りて住んでおり（当時はマンションなど無かった）1987年の11月の有る週末、それまでの連日連夜の忙しい仕事が終わりしばらく遠ざかっていたゲンテンハイランド（カジノのBlack Jackゲーム）で勝ちに勝ちまくり翌日（日曜日）の夕食を近くの海鮮料理店で仲間とカキを食べた。

ところが私だけその夜から猛烈な下痢。朝までNon-stop。翌日会社で指定のクリニックへ駆け込みドクターの診察そして検査だけ受け薬を受け取り帰宅。（勿論下痢は断続的に続きっぱなし。）翌朝再度クリニックへ。ちょうどその時外部検査機関より検査の結果が届き病名はアミーバー性赤痢とのこと。

日本ではすべての赤痢は法定伝染病に指定されているそうだがマレーシアではアミーバー性赤痢は常温で空気中にて大気と接触死滅する為法定伝染病には指定されてない。医者と相談をして緊急に帰国したいので注射で何とか下痢を抑えつけてもらい、いろいろ帰国のための準備をしているうちに夕刻近くになり、その日のうちに日本に帰国できるのはシンガポール経由の夜行便があるとのこと。これまで経験したことも無い激しい下痢により体力が弱っている為、翌日の朝のマレーシア航空にて帰国。そして駒込病院の感染病棟に入院。

マレーシアでは法定伝染病ではないというところ日本の医者いわく「悪法も法は法なり」とトボケられ明治時代に出来た法律で伝染しなくとも法律で決められているので規定通りの3週間は入院させ治療をする。

もとの健康な体に戻ってくるとタバコが吸いたくなり最初の3日程度はなにげなく自主的に禁

煙。病室内のトイレ兼浴室のなかで先ず一服。病室には看護婦・医師も入ってこないのが安心していられた。数日経過後予備のタバコを持ってきていないことに気が付いて残り数本になってはじめて無い頭を一生懸命使い考えた結果、掃除のおばさんが毎朝廊下の掃除に来ていたので病室内と廊下の窓越しでの筆談「一日一箱500円お釣はおばさんに」これで契約成立。毎朝9時に食事出し入れの窓口で受け渡し。外部との会話は総てテレビ電話のみ。話は戻るがカジノの時の利益は半年後KLに戻って両替したところ為替変動で貨幣価値が半減という憂き目にあった。・・・不労所得身につかず

入院費用：初診料だけ本人負担。その他部屋代・食事代すべて無料。

そして入院から3週間後退院して入社。翌週からいきなり香港勤務の辞令。私物及び技術資料等はKLに置き放しにて緊急帰国したが、駒込病院入院中にすべて香港に送付されていた。

今度は香港滞在3ヵ月後にお昼の弁当があたり腸チフスの疑いで保健所から連絡そして又Queen-merry Hospital（国立）の隔離病棟へ。ここは検査入院7日間で疑いが晴れる。

しばらく病気のこととも忘れ仕事に没頭し、約1年半後のある朝起きると腰の激痛に襲われAmah（女中さん）に付き添われAdventist Hospital（私立）にアパートから救急車で運ばれる。救急車が病院につくや否や病院の事務員に支払いについて聞かれVISAカードを渡しサインすると、直ちに注射されそれまでの鋭い痛みはどこへ行ったのやらそのまま気を失い眼がさめたら病室のベッドの上。

現金がオールマイティだと言うことが判ったのは初めてであった。VISAカードによる支払いは痛み止めのモルヒネ注射費用のみで入院費用についてはPayment guaranty letter（支払い保証書）を提出してくれと要求されたが、誰が何時連絡したのかわからないが会社から経理担当が病院に来ておりレターを提出して一件落着。（そもその原因はベッドが柔らか過ぎた為と思われ以降はベッドをスプリングの硬いものに取り替えた）。

この時は仕事その他のことを考えるより激しい痛みを除去してもらう方が先であり前回の赤痢の時と違いタバコについては全く考える余裕も無かった。

…皆様も何かあったとき病院の支払いについて要注意かと思えます。今後、個人での旅をするにあたりPass Port に海外旅行傷害保険証をはさんで置いた方がいざという場合有効かと。

同じく1993年の春、事務所内で出張準備中(2泊3日の予定でホーチミン行き)ハンドキャリアのバッグを持ち上げようとした時又腰をやってしまい同じ病院に運ばれ、そして同じ医者にかかる。同じ医者と言う表現は当時、香港人の医師や弁護士等の高給取りの多くは1997年の中国返還を心配し家族ともども外国への移住ラッシュだった為。

そして数日後回復し退院。約10日後にベトナムへ3日間の予定で出張。それが長引いていつの間にか市内に一軒家を構え香港とホーチミン(旧サイゴン)を毎月行ったり来たり1年近くたち、年中常夏のホーチミンであるにもかかわらず風邪を引いて一晩中胸の痛み…症状は呼吸する時。

つまり息を吸っても息を吐いても肺の激痛に襲われ一晩中苦しみ朝まで我慢し救急車を家に呼び、市内の最大の病院であるチョウライ病院(外国人病棟の有る唯一の国立病院)に担ぎ込まれICUへ。そこで注射1発(多分痛み止めの麻酔薬)で痛みも無くなり気持ちよく昏睡状態…目がさめてドクターの説明で初めて肺炎で入院することになったとのこと。

ただ啞然として医者のことを聞いていただけ。直ぐ宿舎や事務所に連絡。家から女中に(この頃は外国人居住区に一軒家を構えて住んでいた)入院の為の準備「勿論タバコ」も含め持って来させ病院の最上階の外人専用室に10日間。食事は市内の日本レストランより昼夜は出勤。朝は家から女中さんが車で配達。

病院への入院費用全部で950US\$(現金払い)…後日、日本で精算。

そこで思ったことはなんでこんな病弱な者をそれもよりによってベトナムとこんなひどい会

社があるかと呪ったがとき既に遅し。前任者が肝炎(C型だから水や食べ物ではない。男ならピンと来るのでは?)で急に帰国し次ぎの責任者がくるまでと言う約束でホーチミンに2泊3日の出張ベースで来た為、赴任用の何も準備しなかったが全ての必要品はとりあえず現地調達(ゴルフ道具から背広も含めて)。

翌年の領事館主催の新年名刺交換会で肺炎になった日本人がホーチミンで入院したのだった?と本人を目の前に話題がでた時はほんとに複雑な思いで聞いたが、この頃のベトナムは北のハノイと合わせ全部で日本人220-230人程度しか駐在していなかった為と、普段の話題が少ないので直ぐに噂が日本人間に広がったらしい。別の日本人の場合、肺炎でバンコクに輸送されたとか。

しばらくしてからベトナムの仕事もほぼ終わりかけた時フィリピンのセブの仕事が入り、これより先約半年間セブとベトナムを行ったり来たりの相変わらずの国際浮浪者みたいな生活。

その後台湾に移動し、ある日曜日急に腹痛(臍の斜め右下)がして省立新竹病院の救急外来棟に一人で行き、当番医師の判定で胆石の疑い明日精密検査するので明日来るように本人の痛みも考えずのんきなことをいう奴だと思い「とにかく痛いので早く何とかして」と中国語で言っていると、年配の医師が出てきて診察その結果???胆石ではない。盲腸だ!「直ぐ開刀(手術)」というではないか。日曜日の夕刻ですよ。

そこで携帯電話であっちこっち連絡しそのまま手術室へ。その結果、盲腸の下部が破裂寸前(腹膜炎)の状態であり「たらこを火で焼いたような」真っ黒になっている患部の盲腸を取り出し見せてくれた時、助かったとこの老医師の迅速な判断に感謝でした。この病院での手術後3日目で近くの私立病院に転院。(個室が無かった為と国立病院のためサービスが良くない)

この病院の費用はすべて現金で払い(派遣会社からの付き添いのお婆さんの費用含む)NT\$:95,000(日本円相当:280,000¥)はすべて日本で海外旅行者傷害保険にて求償した。

家族が見舞いに来たが台湾到着最初の日と帰国

の最後の前日だけ病院に。真ん中の7日間台北と高雄の観光旅行(海外保険に付与されている救援費用はこのように家族の為に大変有益であった)

この後黄熱病と肝炎の予防注射をしてアフリカの象牙海岸(アビジャン)に短期出張。そしてパキスタンのイスラマバードの仕事(6ヶ月)を終わらせたあと、再度マレーシア赴任。1990年頃より約10年にわたり胃潰瘍と12指腸潰瘍(Multiple)で6ヶ月に1度は一次帰国し胃カメラでの内視鏡検査を受け6か月分の薬を入手し又出国の繰り返しであったが、2001年4月に帰国し検査を受けマレーシアへ戻った後で緊急連絡を受け「再検査の要あり」すぐに帰国。

その結果:最も初期の胃癌が見つかったとのことで正式に帰国し東京医科歯科大学病院に入院これを1/3残し他は切り取り現在にいたる。

これは癌保険が適用され、既に2年と10ヶ月経過。この間バンコクに6ヶ月程度の短期出張の他にラスベガスへ2回そしてスキューバダイビングも何度か楽しみ現在お釣の人生を謳歌しようといういろいろ模索中の悩める遊び好きな還暦6ヶ月前である。

このように何度も病院に入院していると病気に関する英語の単語だけは上達したといえるがこんな不名誉なことは自慢にも何もならない。病気と言うものはある日突然やってくる予期せぬ出来事である為、交通事故に遭うようなもので適切な予防措置なんか無い。

全く皆様のお役に立てないかもしれませんが、東南アジアで唯一気をつけなければいけないのはフィリピンやインドネシア及びマレーシアあたりでは Dengue 熱(高熱39-40度の状態で数日続く)そしてベトナムではマラリア(やはり高熱そして寒気が続く)予防対策として特にないが「蚊に刺されないように」しかも風俗習慣の違い言葉の障害など「海外ロングステイ先での病気は気をつけるに越した事は無いが本当は怖くない」と言うのが私の結論です。

【会員担当より】

担当理事: 酒匂景輝/龍野 宏/
高田勝弘/山本幹夫

1. 会員動向(平成16年度正会員)

平成16年7月2日現在: 476名

内訳・継続会員 : 387名(復活者1名含む)

・新規入会者: 89名

毎年の夏季号送付時の会員数を比較しますと、継続率は80%前後であり、会員数は毎年約80名程度増えている事が分かります。

	正会員数(人)	年度当初での継続率(%)
2002年度(6/16)	316	78
2003年度(7/10)	399	83
2004年度(7/02)	476	82

2. 会員の転居届けについて

昨年度の会報でも御願ひしておりますが、転居届けをしない方が多く、大変困っております。折角、会報を送付しても返品が多く、前回の春季号では10件程度戻ってきております。各支部長さんにも協力して戴いて探して貰っておりますが、皆様にご迷惑をお掛けしますので、転居届け提出の件、ご協力宜しく御願ひ致します。

3. 会員名簿について

個人情報保護の観点から、会員名簿に記載されている年齢、連絡先等を削除したらどうかとの意見があります。次回に会報でアンケートを取らせて戴きますので、皆様のご意見を是非お聞かせ下さい。



日本・マレーシア治療体験記

クアラランプール在住 会員No.302 末 英樹

マレーシア (KL) で発症し現地総合病院で治療、日本の整形外科医院での治療も時間切れで再度KLで治療し、ホボ完治するまでの約2ヶ月半の体験です。

病名

腰部脊椎間狭窄症いわゆる坐骨神経痛。

症状

時と場所を問わず左脚膝から下に痺れ或いは激痛が走る、但し自転車利用時はOK。

原因

KLでの初診の際加齢によると言われた。私の場合は「腰部変形すべり症」で、椎間板や椎間関節が加齢変化により背骨の一部が前方に階段状にずれ神経が接触し痛むものでした。

発症

病院 (マレーシア) で初診を受けたのが3月9日、その後3月26日から4月20日の間は日本への一時帰国 (注1)、4月20日にマレーシアに舞い戻り5月中ごろにホボおさまりました。その後3週間の間にゴルフ4ラウンド異常ありません。

注1 この日程は既定であった。一時帰国のチケットを2月にマレーシア航空のプロモーション時に購入済みで、なんとRM998、さらにシニア割引がRM100で差引きRM898 (2万7万円弱) の今までの最安値、勿論往復で1ヶ月間FIX、2食とおやつ付き。通常は約RM2,500。但しプロモーションの為日程変更不可である。

治療経過

3月9日～3月25日 初診はスバンジャヤメディカルセンター (注2)、小学校時代の旧友 (ゴルフ好き) が2月中旬より来馬、連日のゴルフが影響したらしく3月初旬頃左脚膝から下、踝 (くるぶし) にかけてシビレを覚え痛みも伴うようになった。3月9日上記SJMCにて日本人看護婦さんのサポートを受け、英国仕込みのマレー系 (注3) のドクターに診てもらおう。レントゲン写真を見ての診たては、腰椎の一部が滑って神経の一部に触っている。ゴルフは減らしなさい。歩くときはゆっくりと (注4)。飲み薬3種、塗り薬そして PHYSIOTHERAPY

(注5) での牽引療法と電気療法でした。そしてリハビリ体操6種類の説明とそのプリント。初診後、帰国するまでにリハビリに4回通院。飲み薬が合わず鎮痛剤を他銘柄に変えるも痛み良くならない。

注2 Subang Jaya Medical Center (SJMC)、日本人の看護婦さん (日本マレーシア両国の資格保有) が常駐する入院施設 (312床) 併設の私立総合病院で、日本人向けの健康診断も受け付けている。日本の海外総合保険でキャッシュレス可能。私宅から車で約10分。

KLには市内近郊を含め日本人の看護婦さん、或いは日本語の通じる総合病院が3ヶ所、クリニックが1ヶ所、歯科医院が3ヶ所開業している。

注3 マレーシアは多民族国家ですのでマレー系 (マレーシア人)・中国系・インド系と人種分けし、それぞれをマレー・チャイニーズ・インドまたはインディアンと呼びますが、人種差別の意味は特にありません。ひっくり返してローカルと総称。

注4 日本人はセカセカと急いで歩く人種であることをドクターはお見通しだった。マレーシアの人達が日本に行って一番驚くのは日本人の歩くスピードだとの事。ローカルの人たちは、日本人はどうしてあんなに早足なのか不思議に思っている。GOLF場で前のパーティーがローカルだと大部分の日本人はイライラする。

注5 PHYSIOTHERAPY 日本語では理学療法と訳すのでしょうか。SJMCで受けたのは電気療法と牽引療法であった。

3月26日 (土曜日) 成田着、脚を引きずりながら日本へ帰国その時の苦痛は時々顔をシカメル程度であった。自宅最寄のバス停から通常徒歩4分位のところをを10分以上かけてやっと自宅へたどり着く。

3月29日 (月) 週明けの月曜日に最寄り (自転車約5分) の整形外科へSJMCで貰ったレントゲン写真、飲み薬を持参す。改めてレン

レントゲン写真、飲み薬を持参す。改めてレントゲン撮影、診たてはマレーシアと同じでした。そして約20分の牽引。飲み薬は、勿論日本製を5種類(ビタミン剤2種、鎮痛剤、血栓を抑える薬、胃薬)を処方箋によって近所の薬局で購入。

ビックリしました、その薬局の丁寧な事、薬の名称、用法、薬効をそれぞれ写真入で一枚にまとめプリントアウトさすが日本の実力(錯覚?)を見ました。その後1週間経過しても好転の兆し無く次の手段「硬膜外ブロック」、すぐに痛みがひけ治ったのかと思いましたがその薬効はホンノ1~2日、日本での治療中で楽になるのはこのブロック後の数日間だけでした。

4月19日の帰国前日も硬膜外ブロック、そのお陰で東京世田ヶ谷の自宅からKLのコンドミニアムへつくまで特に苦痛も無く帰って来られました。この整形外科へは自転車通い、徒歩では痛くて歩けない時も自転車は問題ない。この病状の特徴的なことだそうです。

4月20日 KLに帰着、ブロックが切れて痛い足を引きずりながら翌21日・22日とマレーシアでの1ヶ月間の留守の間に溜まった雑用をこなす。23日からSJMCに行き牽引等数日続けるも好転の兆しが見えず辛い数日を過ごしました。

24日(注6)日本から戻ってきた家内が、友人から、「いいところがあるよ」と近隣の治療院を紹介してもらう。

注6 3月26日日本に一時帰国の時は家内と一緒にの便であったが、日本からは小生が一足先にKLに帰着し23日に家内と娘(娘は5/6日本へ)と一緒に来馬した。

WONG PHYSIOTHERAPY CENTER(注7)4月29日始めてこの治療院へ行く。以降日曜以外は毎日治療に行き10回の治療でホボ痛みは治まり、一体あの痛みはなんだったのだろうかと言う感じでした。このMRS. WONG(ミセス・ウオン)の治療院は電気療法の機械が4種類位しかなかったのですが、マイクロウェーブを使ったマッサージ、温熱療法、低周波治療等を組み合わせ1回

30分間、治療のポイントが良かったのではないかと思います。勿論病院でのレントゲン写真とドクターのコメントは大事な判断材料のようでした(注8)。既述の如く10回通ってビックリする程良くなりました。彼女の治療法はドイツで勉強して来られたそうで治療機器はすべてドイツ製でした。また彼女は熱心なクリスチャンで、私の痛みもお祈りすれば治ると真剣に何度もいわれ、信仰心を併せ持った世の為人のための正に「医は仁術なり」の雰囲気満ちたMRS. WONG でした。

10回目の治療が終わった時、「もう来なくてよろしい、痛くなったら電話してくるように」また日本式の畳の上に座る生活はダメ、エクササイズをしっかりとすようにと言われ数種類のエクササイズの指導を受けました。生活習慣を変えるようにというわけです。

場所も私の住んで居るコンドミニアムから車で約10分、駐車スペースも常にありこの分では日本に帰れないねと友人達に言われています。

注7 WONG PHYSIOTHERAPY CENTER(治療院の名前です)治療してくれたのは MRS. F. T. WONG (Physiotherapist-Germany) という一見そこらへんの何処にでも居るチャイニーズのオバちゃんでした。

注8 こちらの病院はレントゲン写真等の資料の保管は患者の責任、セカンドオピニオンの意味もあると思う。日本で受けた整形外科の先生も撮ったレントゲン写真は全部呉れました。この先生もセカンドオピニオン賛成論者でした。

一時帰国中の4月7日に神田の居酒屋で畳の上での数時間アグラで友人たちと酒を飲み交わした。これが良くなかったようです。八海山、久保田、森伊蔵を始め全国の銘酒、銘焼酎が揃っており特に赤米より醸造したお酒は絶品。友人との語らいと美酒、その後の脚の痛さ、を秤にかけてと答はなんともいえません。治った今だからいえますが、、、、。

一時はこの左足要らないから切ってくれと思ったこともあった程の辛い日も有りましたが、

SJMCのドクター・世田ヶ谷の整形外科の先生、MRS. WONG、MRS. WONGを紹介してくれた友人、有効なサプリメントを紹介してくださった方がたそして家族のお陰でホボ完治、皆さんに感謝です。

日馬2カ国での2.5ヶ月にわたる激痛退治の体験談でした。似たような症状で辛い思いをされている会員の方もおられると思いますのでこの経験が多少でもお役に立てれば幸いです。

なお、一部次の著作を参考にさせていただきました。

参考図書 書名 中高年の坐骨神経痛 原因となる「腰部脊柱管狭窄症」の治療

著者 NTT東日本関東病院整形外科部長

下出 真法

発行所 (株)保険同人社

定価:本体1,000円

病気の説明から治療方法まで疑問点が殆んど書いてあるこの本のお陰と、MRS. WONGの存在で、再び南国での平穏な生活に戻ることができました。感謝。

メーリングリストからのミニ情報

NO. 454 山田清子です。

1月30日よりゴールドコーストのサーファーズパラダイスに滞在しています。

2月2日、1時間の体験入学を経て、1ヶ月コース「40時間」に入学しました。

学校は50 Cavill Avenueビルの20階のE. I. Pです。

ハードロックカフェの隣のブロックです。

初級、準中級、中級、上級、ビジネス、シニア、等。少人数制、会話中心です。

自己申告制で、私は2~4人までの初級クラスに入りました。

2週間たちましたが、A. M10:00~12:00までの午前中だけ、今週から、午前、午後2時間ずつ、合計4時間。

生徒が2人の時は、もう大変です。オーバー

アクションで話しているのです。

楽しくて時間のたつのがわからなくて、笑い声が響いて、事務の方から「楽しそうでしたね」とよく言われます。

費用は 入学金 A \$ 100 1時間 A \$ 20

合計A \$ 900

シニアコースは、マンツーマン時間 A \$ 40

忘れるほうが早いのですが、繰り返し話しているうちに、少しは身について欲しいものです。

支部・部会伝達版

【総務(事務局)担当より】

担当理事:宮崎哲郎/菊地功/高田勝弘

1. 5月30日、16年度理事会も無事終了し総務部門も新体制でスタートしました。今年度もよろしくお祈いします。総会以降の総務部門の主な活動は以下の通りです。

06月06日(日):企画委員会

06月09日(水):登記及び都届出資料準備打ち合わせ

06月19日(土):16年度第1回理事会

06月23日(水):

*品川法務局に役員及び資産変更登記申請

*都生活文化局に定款変更認証申請

*特許庁に当会ロゴマークの手續補正書を提出

06月30日(水):都生活文化局に15年度事業報告書及び役員変更を届出予定

2. 当会ロゴマークの商標登録の件

本会報表紙下部にも表示している当会ロゴマークは昨年10月に商標登録出願していましたが、6月3日付で拒絶理由通知が届きました。理由はロゴマークそのものにあるのではなく、我々が主張した指定役務(商標の権利を主張するサービス)の表現が適切ではないというもので、6/19の理事会に新指定役務を提案し、審議決定された変更指定役務の特許庁に再申請しました(この手続きを手續補正書の提出という)。

奇祭マルディグラと西カリブ海 クルージングの思い出

東京都在住 会員No. 644 平山 誠・浩子

昨年11月の東カリブ海クルージングに続いて今年もワールドスティクラブ(WSC)より南の会に西カリブ海クルージングのお誘いを頂いた。前回は、半数以上が当会員の参加で大いに盛り上がったと聞いていたが、今回は我ら夫婦だけが当会からの参加となった。

3月にテキサス州のオースチン市に駐在している息子夫婦に初孫が生まれるので手伝いを兼ねてアメリカ南部地方を旅行中だったので途中のニューオーリンズで日本からの一行に合流してクルーズ後にニューオーリンズで別れると言う行動となった。

WSCの皆さんとは最初の滞在地ニューオーリンズの3日間ですっかり意気統合し2月22日、8日間のクルージングを終えコンクエスト号を下船する時には、数十年來の知己のように親しくなっていた。WSCの皆さん、本当に楽しい旅をご一緒でき大変良かったです。どうも有難うございました。

さて、WSCの森実団長(4月1日より当会の会員となられる)率いる一行28人の道中記を思い出を辿りながら綴ってみよう。

<2月12日 - 15日> ニューオーリンズ
奇祭マルディグラ(MardiGras)と本場の
ジャズを堪能

<2月12日>成田からミネアポリス経由でニューオーリンズに着いたWSCの一行26名と空港で合流した。エアポートリムジンにて約1時間、フレンチコートーのランパート通り沿いのランドマークホテルにチェックインしたのは夕闇が迫る6時頃だった。その晩は、皆長旅の疲れも何の其の夕食に或いはジャズを聞きに三々五々出掛けた。我々も早速、シーフード料理の老舗フェリスでアメリカ南部を代表するクレオール料理に舌鼓を打った。久しぶりに食べたオイスターロックフェラーは絶品であった。

世界三大カーニバルの一つと言われるマルディグラは、キリスト教のお祭りでその名を謝肉

祭と言う。開催時期は年によって変わるが、約2週間ニューオーリンズ市民のみならず世界中から訪れるカーニバルお宅でフレンチコートーは、大いに燃えるのである。最終日ともなれば、奇妙な仮面を被り思いっきり奇抜な衣装を纏った急造のクリスチャンで熱狂の坩堝と化するのである。

我々の滞在中はまだ始まったばかりで街は思っていたよりも平靜であった。それでも夕刻近くともなると皆ビーズのネックレスを求めて目抜き通りを練り歩くのである。通りのいたる所で人だかりがしているので覗いて見ると、胸をあらわに開きバルコニーに向かってビーズを催促している美女とその美女(の胸)を見たさに取り囲んでいる男達の輪であった。

カーニバルのハイライトは、何と言ってもパレードだ。マーチングバンドの後を趣向を凝らし飾り付けられたフロート(山車)が続く。丁度阿波踊りの「連」に似た仕組みで50を越える団体がフローを作る様だ。フロートが通る沿道は投げ込まれるビーズの争奪であちこちで喚声か沸いた。

カーニバルは、懺悔(ざんげ)の火曜日で四旬節(Lent)の始まる前日(今年は2月24日)に最高潮に達する。期間中パレードは毎日3~6のコースで昼と夜の2回行われるが、滞在中は生憎の雨で取り止めになったものもあり傘を差しての見物となった。今一つ盛り上がり欠けたのは残念であった。

ニューオーリンズは、長い間フランスとスペインに統治されたのでいたる所で両文化の影響がみられ、一種独特の雰囲気を持った街である。とりわけフレンチコートーは街並みの保存に努めていてアメリカ南部地方の歴史の変遷を見る上で重要な一角だ。

同時に、2平方キロメートルに満たないミシシッピ川沿いのこの小さな街は、夜になるとアメリカでも有数な歓楽街となり旅人に色々な楽しみを提供してくれる。バーボンストリートを中心に南部特有のクレオール料理やケイジャ

ン料理を出すレストラン、度派手なディスプレイで客を誘惑するストリップ劇場、ショットバーにジャズのライブハウス等が所狭しとひしめき合っている。

旅人はブルースからロックまで、又雰囲気的好みに合わせてライブハウスを選ぶのである。入場料を取る店もたまにはあるがたいていは飲み物を一杯オーダーするだけでワンステージはOKだ。我々も滞在中、プリザベーションホールやメイソン他数店で本場のジャズを堪能した。目の前で大きな黒人がトランペットを片手にしゃがれ声で歌う哀歌にジャズの原点に触れた思いがした。

現存する唯一のスチームボートでのミシシッピ川ランチクルーズ、赤と黄色に塗られたトラムからの市内見物、フレンチマーケットでのショッピング、旧造幣局を利用した博物館でサッチモ(ルイアームストロング)が使ったトランペットを見て感激したり、雨と寒さに悩ませられた三日間だったが、30年振りに訪れたフレンチコーナーを丸ごとエンジョイ出来た思いがした。

<2月15日 - 22日>

コンクエスト号で行く西カリブ海の船旅

いよいよ今回の旅のハイライト7泊8日の西カリブ海クルージングの始まりである。

<2月15日>昼頃にミシシッピ川の船着場に着いた。初めて見る世界最大級の豪華客船カーニバル社のコンクエスト号(11万トン)の勇姿に圧倒された。同時にこれなら大丈夫と思った。出国と乗船の手続きを同時に済ませると一枚のカードが渡された。乗船中はこのカードがキャビンのキーでありキャッシュカードであり身分証なのである。キャabinは最上階近くの10階のバルコニーのあるツインベッドでトイレ、シャワー、TV、冷蔵庫が付いたホテル並の部屋で大満足であった。

午後6時コンクエスト号は夕焼けに赤く染まったニューオリンズの高層ビル群を後に静かに岸壁を離れ滑るようにミシシッピ川を下った。

やがてメキシコ湾に出て一路ジャマイカのモンテゴベイへと航路取った。2月18日の朝ジャマイカのモンテゴベイに入港するまでの丸3日間乗客は思い思いに洋上での生活を送った。毎朝日本語で書かれたその日のプログラムが各キャビンに届くのでそれを見てその日の行動計画を組むのである。催し物は大劇場での各種エンターテイメントからデッキでのコンテスト、音楽会や絵画のオークション、カラオケにカジノ、そして船の厨房見学会などバラエティに富んでいる。他にアスレチックジム、プール、ジョギングコース、図書館やインターネットカフェなども用意されている。

好奇心旺盛な我らは、早朝の朝焼けウオッチングからディナー後の劇場ショーまで休む間も無く船内を行ったり来り本当に良く動いた。デッキで一日中日光浴を楽しんでいるアメリカ人を見るとやはり文化の差を感じずにはいられなかった。食事はディナー以外は何時でも取れるが、ディナーは3階と4階の最後尾にあるメインダイニングルームで指定された時間にとった。一流ホテル並の料理とサービスと仲間とのお喋りで毎日楽しく癒しの時となった。

2日目に船長主催のウェルカムパーティーがあり、各自思い思いのフォーマルウェアに身を包みカクテルとダンスを楽しんだ。我らは、この日の為に昨年チェンマイ訪問時に新調したタキシードとイブニングドレスで臨んだ。一寸晴れがましかった。数人の女性が和服で臨まれたが皆の目を惹いていた。

<2月18日>早朝ニューオリンズを出港して4日目、ジャマイカのモンテゴベイに入港した。事前に申し込んでおいた陸上でのオプションルツアーを楽しむ日だ。私はダンズリバーの滝登りに参加した。朝食後9時に下船しバスに2時間程揺られてオーチョ・リオスに着いた。水着に着替え現地ガイドの指示に従い参加者は国籍、性別、年齢を問わず列の前後の人と固く手を繋ぎ全長200mの滝を助け合いながら約1時間かけて登るのである。

数十本の人間の鎖が頂上めざしてのろのろと

進む様は一寸不思議な光景だ。急勾配や深みもあり、参加者は真剣に助け合わないとゴールまで辿り着かない。登り切った時は一種独特の連帯感と爽やかな達成感が残った。帰路モンテゴベいの市内観光とショッピングを楽しんで約7時間のツアーを終了した。

<2月19日>早朝英領グランドケイマン島に到着。前日同様幾つかのオプションツアーが用意されていたが海が荒れているのでスキューバダイビング、グラスボトムボート、エイと泳ぐなどのツアーが中止。仕方なくジョージタウンに繰り出したが目抜き通りに所狭しとたち並ぶ英国系ブランド免税店とタックスヘブンを利用する為の多数の世界的銀行の支店はカリブ海のイメージと懸け離れていた。ハードロックカフェで休憩し早々に船に戻った。

<2月20日>最後の寄港地メキシコのコズメル島に入港。8つのツアーの中からトウルムのマヤ遺跡を選んだ。コンクエスト号を下船して約2時間フェリーとバスを乗り継いでマヤ文明のトウルムに到着。感無量であった。33年前にメキシコを17日間バスで旅したが日程の関係でマヤ遺跡まで足をのばせなかったのが長年の思いが叶った。その上今回の旅行中最高の天候に恵まれ、心ゆくまで崖に立つ城やフレスコの神殿を見学した。

時折岩間からイグアナが顔をのぞかせた。遺跡から見るカリブ海は青色の濃淡が幾重にも重なり、その美しさは正真正銘な絶景であった。本当に堪能した。夕刻船はニューオリンズに向けて最後の航海に出た。洋上であと2泊すれば7泊8日の船旅はエンディングを迎える。ところがである、

<2月22日>未明緊急船内放送があり、ミシシッピー川で船の衝突事故が起き川が閉鎖されて解除の見通しが立たないとの一報が届いた。いらいらの状況が数時間続いた。最終的にはニューオリンズには帰港出来ずメキシコ湾沿岸のオーシャンシティに昼頃やっと入港した。9時頃にはニューオリンズに着きバスで市内観光を

してから空港に向うという当初の計画は完全に狂ってしまった。

オーシャンシティからのバスがニューオリンズ空港に到着したのは搭乗便の出発30分前という慌ただしさだった。そんな訳で碌な挨拶も出来ず、再会を誓ってメンフィスに向かうWSCの一行と別れた。色々あったがニューオリンズで始まった10日間の夢のような旅は生涯の思い出となった。

「南の会 楽しい英会話」が始まりました。

1. 開催日時: 毎週火曜日(又は金曜日)
午後6時30分~8時30分
2. 場 所: JR巢鴨駅近くアーバン
ハイツ2階集会室
3. 内 容:
(基本編)
 - ・英語の発音
 - ・海外旅行や日常生活で役立つ基本英会話(応用編)
 - ・さまざまな場面での英会話例: 乗り物、ホテル、レストラン、ショッピング、病気、観光、銀行、その他

開催日時と場所は、場所の確保如何で変更の可能性あります。

No. 700 安藤 公二郎
km2ando@ybb.ne.jp



ニュージーランドの旅

埼玉県在住 会員No. 40 平澤 信

ニュージーランドの印象

治安がよく、人々は親切で、何処の都市も清潔で、公園、各家庭の庭も美しくガーデニングされて、一部の隙もない感じがする。公園には必ずトイレが設置されていて、掃除も行き届いて快適。でも、何故か生活臭がしない街。

ニュージーランドに着いて暫らくは、箱庭の中に放り込まれたような窮屈さを感じて仕方がなかった。フィヨルドを見れば、北欧の方が凄いのと思うし、氷河を見れば、スイスアルプスの方が見ごたえがあると思ひ、大自然？それならカナダや、オーストラリアの方が…。と何でもNZにケチを付けたくなっている自分に気がつく。

前回の訪問国チュニジア、モロッコのミステリアスで、スリリングな旅を無意識のうちに追い求めていたような気がする。

しかし、そんな事を言ったら、折角の今の旅が詰らなくなってしまう。頭を切り換えて、当初の目的であるロングスティ地を尋ねて、この国の人々の生活ぶりや暮らしやすさに軸足を置いて眺めてみれば、文化、食べ物、自然環境、適度の先進国で「こんな住みやすい国はない」と思うようになるのにそう時間は掛からなかった。

だが、南島の殆どが寒すぎて私の避寒には向かないと思った。勿論、場所や天候にもよるが、真夏でも殆どのホテルに暖房が入る事を思えば、いかに寒いかお分かり頂けると思う。

夏でも雪が降るマウント・クックを始め、ミルフォード・サウンド、テアナウ、Fジョセフ氷河等では夜10℃以下になる。

我々が快適に住める場所はどこか？以下、訪問して印象に残った都市の体験記です。

オークランド（ドミトリ初体験）

1月11日（日）。コタキナバルからクアラルンプール経由で、オークランドに入る。多くの友人達から「ニュージーランドの夏はかなり寒い」と聞いていた。コタキ出発時、寒がりの私はセーターの重ね着をするなど万全を期した。しかし、到着日のオークランドの気温28℃。汗

を流しながらのホテル探しとなった。

ガイドブックでホテルの見当は付けてあったが、私が宿泊する安ホテルの名を言っても、空港バスの運転手に分かるまいと思ひ「スタンフォード・ホテル近くで…」と、お願いした。スタンフォードが近くなるにつれ、運転手が大声で「スタンフォードは後3つ目ですよー」と怒鳴る。私はこの親切を単純に有難いと思っていたのだが、バスのお客が「ほう！スタンフォード、やはり日本人云々…」といったため息とも羨望とも思える視線に囲まれた。

この後に及んで「私はスタンフォードに近い安宿です…」とは言い出せない雰囲気である。

バス停へ着いた時、運転手がわざわざ窓から顔を出して、スタンフォードは坂を登って左へ云々…。と道案内をしてくれた。私の安ホテルとは逆方向だったが、皆さんの期待を裏切ったら悪いと思う気持ちから、バスが見えなくなるまで、スタンフォードの方向へ静々と歩いた。

後で、ガイドブックを確認して見たら、スタンフォード・プラザ・ホテルは、クリントン前アメリカ大統領の定宿で、超高級ホテルであった。あの時「スタンフォードへ連れて行ってあげる」という人がいなかったことが幸いであった。

「ニュージーランドのホテル事情は、夏場特に悪い。予約無しには泊まれない」と、友人達からのアドバイスもあったが、何とかなるさ、と高をくくって、いつも通り予約無しで出掛けた。しかし、ホテル6軒走り回ったが100\$ (7,660) 以下の部屋は全部満室であった。

日本を出発前、YHA（ユースホステル）の会員になっていたことが幸いした。やっとオークランドYHAに宿は取れたものの、8人用の相部屋。NZでは、この相部屋をドームと呼ぶ。

私は、相部屋は初体験だった。フロントで貰ったバスタオルと、シーツを持って部屋の入り口に突っ立っていた。ここのしきたりを誰に聞いたものかと困っていたら、サンフランシスコから来たエミーちゃん(24歳)が、かいがいしく面倒を見てくれたうえ、美味しい韓国料理の店等

も教えてくれた。小学校の林間学校のようにこれも「結構楽しい」と思ったのだが、常時外国人と隣合せの生活で緊張したのか、3日目には食欲が殆どなくなった。

でも、この部屋の様子は実に面白い。1932年生まれ(72歳)の、真っ赤なスーツケースを持つアメリカ人のリズが、私のベッドの上段を占拠して長期滞在していた。彼女は退屈しのぎに新参者と話すのを楽しんでいる。私にも「日本からかへ？この着物(ゆかた)は東京の浅草で買ったのよ」と話し掛け、エンジ色のガウンの上に、白いゆかたを羽織って得意気に私に見せた。

この格好で廊下を走り回る姿は、さながら銀髪の妖怪のよう。仮装大会なら入賞間違いない。

「国際女性刑務所」という物があるとすればこのような部屋かと想像して可笑しくなった。差し詰めリズおばさんは「牢名主」といった風情である。さて、私は何の罪で…?

NZに住む日本人の殆どが、猥雑なオークランドには、「住みたくない」と言うが、広大な美しい公園、日本食材あり、立派な劇場や美術館もあって、私は結構気に入った。



オークランド・ドメインのガーデニング

因みにYHAの私の泊まった相部屋は、1泊24ドル(1,838円)。いつも泊まっている程度のツインルームは100ドル(7,660円)以上はする。少し物価高な気がした。

気弱な私は、相部屋に懲りた。「こんな旅を続けたら、折角の旅の思い出までが細ってしまう」と思って、これから廻るNZの全ての宿に

電話予約を入れ、ホテルを確保した。

宿を決めずに気ままな旅をしたい私にとって、楽しさが半減する思いだった。

ロトルア(露天風呂もある温泉街)

1月16日(金)。オークランドからバスで2時間、温泉の街ロトルアへ(北島のほぼ中央部)。

バスで市内に入ると、豪快に熱湯を噴上げる間欠泉が見られる。街全体が温泉の香りに包まれていて、いで湯の街に来たんだなー!と、嬉しくなる。ロトルア名物のポリネシアン・スパには、日本風の露天風呂、温水プール、木製個人風呂、ラウンジも揃っていて、観光客を飽きさせない。

静かで落ち着いた温泉の街だが、長く住むには余りにも街が小さいので退屈?と思ったが、日本の若者達が、3~5年もの間住んでいるのは意外であった。ヨーロッパからの観光客が多いにも関わらず、韓国や日本(風)料理店も多い。NZの西洋料理店の味は、マヨネーズやサラダ・ドレッシングの甘味が強く、この味には最後まで馴染めなかった。ハム・ソーセージの類も素材は悪くないのだが、血が滴りそうであったり、塩味が強かったり、馴染めない。多分加工技術が良くないのだと思う。

楽しみにしていたB・B(朝食の付く宿)での食事も、かなり苦痛に思えた。

そんな時、街中で飛びつきり旨いナポリタンの店を見つけたときは大変な感激であった。

ポリネシアン・スパで働く日本女性の多香さん(ロトルア在住4年の28歳)に、このナポリタンをご馳走したら、律儀な彼女がお礼に、と言って自分の住んでいる家を見せてくれたうえ、私の「取材」と称し、(はて何の取材?)ポリネシアン・スパをフリーパスにしてくれた。

翌日水着を持って、沢山ある露天風呂に入ったり、温水プールで泳いだり、美味しいものを食べたりと、1日中素敵なポリネシアン・スパに入り浸っていた私の姿をご想像あれ。

因みに多香さんの1軒家は、10畳間ほどの寝室2間と14畳ほどのダイニング・キッチン。

1カ月家賃は600\$ (45,882円)を友人と2人で折半。1人300\$ (22,941円)との事であった。ロトルア市内から車で10分の位置にある。

市内には、50\$ (約4,000円)ほどの値段で、スパ付きのB・Bもあり、温泉好きにはこたえられない街だ。

ネイピア(日本食通の外国人達)

1月20日(火)。ロトルアからバスでネイピアへ。街の殆どどの位置から、目の前の大海原が見える美しい街。ヨーロッパ風建築ウォッチングの他は、これと言って見る所もないのが逆に私は好きだ。小さな街に不釣り合いとも思える、大きな水族館には魚の他にキーウイも飼育されていた。薄暗い部屋のキーウイ達は、魚の動きに比べ余りにも弱々しく、滅び行くものの哀れを感じてしまった。

ネイピアではYHAのシングルルームに泊まった。1泊26\$ (2,000円)。ここまで来るとホテル代が安くオークランドの相部屋の値段で、泊まる事が出来る。外食の甘いドレッシング怖さに、この辺から自炊を始めた。

始めのうち、2m近い大男達と共にキッチンに立つのは、いささか抵抗があったが、日本食に興味を持つ外国人は多く、友好的で楽しかった。面白かったのは、日本食が大好きと言うアゼルバイジャンとイギリスの青年2人組の料理だ。彼らは、千葉の友人鈴木君に教わったと言う「チキン・ライス」を調理していた。米を研がずに炊いた芯のあるテココ盛のご飯に、挽肉と玉葱の炒め物を乗せて「日本料理はホントに美味しい」と食べていた。こんな凄い日本料理を教えた千葉の鈴木君に私も会ってみたい気がする。

食べ物も調理人によって、こんな風に少しずつ変化を遂げて、外国人の味覚に馴染んで行くのであろうか。それにしても、この日本料理の原型は何であったのか？

クライストチャーチ(住むならここ?)

1月31日(土)。カイコウラからバスで3時間。NZに住むならここだ!と直感的に思った。

手入れの行き届いた広大な緑地帯は、美しいの一言に尽きる。街自体はそう大きくないが、ロンドンを思わせる均整の取れた街並は、落ち着いた雰囲気の中にも華さあり、ノスタルジックな路面電車も走っていて、毎日が何となく心ときめくものがある。

日本人も沢山住んでいて、街中でよく見かける。日本の食材もスーパーで殆ど揃う便利さは、生活しやすい感じがする。市の中心部にある大聖堂横で日本食レストラン「大黒屋」を営むY氏に生活するためのノウハウを聞いてみた。

住居費は1カ月5~10万円程度で、食費は2~3万円もあればと言う事であった。でも、何を食べるかにより食費は違ってくるという。刺身のよ様な鮮魚類はかなり高い事から、純日本食にこだわれば食費は嵩むとのこと。「でもここは最高にええヨー、早く来ーい!」とはY氏の弁。

クライストチャーチの晴れた日は、気温25~27℃湿度40%とかなり気持ちいい。観光客は皆半袖Tシャツ、短パン、素足にサンダル履き。私は長袖Tシャツの上に長袖ブラウスで暑くは感じない体質。ホテルのラウンジで西洋人たちが冷房をガンガン入れて20℃近くまで下げる。「20℃は、暖房が欲しい温度」と私は主張する。彼らは「20℃は暑い。眠る時だって、手足は布団の外に出す暑さ」と言う。「寒い人に合わせるべきだ!」と冷房を止めさせては見たが、上気して赤鬼のような彼らの顔を見て、こいつらとは体温に違いがあると思った。

でも、いつも素足で歩き回っているドイツ人J君の足の踵に、ひび割れが入って血がにじんでいるのを見た。やはり同じ人間よのう!

毎日、無料電気バスで、スーパーへ出掛けたり、2日間乗り放題のトラム券で街の名所を巡ったり、お弁当持参でエイボン川のほとりや美術館の庭で読書するなど飽くことなく過ごした。身も心も清らかになっていく気がする街だ。

クィーンズタウン(Fantastic)

2月20日(金)。Fジョセフ氷河からバスで8時間。クィーンズタウンは、目の前に巨大なワカ

ティブ湖が広がっていて、その周りの険しい山々との調和が美しい。こんな清らかな水を見たのは何年ぶりだろうか？天気や時間によって、山と湖の色が微妙に変化する幻想的なこの街は、世界中の観光客と出会う国際都市でもある。



クィーンズタウンの街とワカティブ湖

これ以上の自然環境は望めないのだが、私にとっては少し寒すぎた。雨が降ると、日中でも15℃くらいしかなく、短期間の観光なら楽しく過ごせるが、長期滞在には向かない気がする。

「NZに住むなら絶対クィーンズタウンよ！」との、イギリス人女性の言葉を鵜呑みにして、今回の旅で一番長く滞在した。

ところが、実際に住んでみて、ここはNZ切っただけのリゾート地、物価は高く、街自体が小さいので、旅人としては面白いが、長期に住むところではない、と私は思った。

しかし、日本人にはクライストチャーチと人気を二分する人気の街と、旅の専門家筋は言う。

私は、クィーンズタウンを旅の拠点にして、テアナウ→ミルフォードサウンド、マウント・クックなどへせっせと出掛けた。移動の際、メチャきれいな湖をバスの中から数時間に亘って眺める旅をした。何時間見ても飽きない。

「Fantastic」と、イギリス人がその美しさを何度も教えてくれたが、クィーンズタウンはその通りの景観であった。

旅の雑感

①言葉。2カ月ちょっとNZに滞在したが、

NZ英語を殆ど聞き取れないまま終わった。言葉で苦戦して、メモでやり取りしている私に、イギリス人女性は言った「NZの英語は、私たちも半分ぐらいしか分からないのよ」ホッ！

②差別。K君は、NZの大学を卒業して、オークランドの小学校で教師をしていた。その学校を突然首になったと言う。その理由を校長は「日本人は辞めさせろとPTAに言われた」という。24歳にして心に傷を追った彼は、「白人は、自分達が一番偉いと思っている」と怒る。アメリカでならこんな事は許されまいに！NZの遅れた一面を見た。ここで闘え！と言うべきか、取あえず引け！というべきか考えがまとまらない。

③独特のホテルスタイル。1泊5～6,000程度の部屋は、バス、トイレ、キッチンが殆どが共同であった。

④各国の自慢料理。共同キッチンでは、各国の人達が日常造る自慢料理を見た。これが、今回の旅のハイライトかも知れない。

日本人の料理は、概ねバランスが良く、見た目も美しい。中国人は朝から凄い量を食べる、しかも油ギトギト。イギリス人は毎日ステーキを食べ、白いご飯にケチャップをかけて食べていた。ドイツ人は意外と野菜を多く食べていた。殆ど食にこだわらないのはアメリカ人。いつもコーンフレークを3分で啜りこむ味気なさ。パンにバターと良くてチーズ、皿も出さずに、テーブルの上に放り投げて食べる様は開拓時代のアメリカを彷彿とさせた。イタリア人やフランス人は、トマト・スパゲッティを良く食べていた。

食こそ文化だと思う。旅先での食事なので、私が見たものが全てとは思わないが、日本食中々いい線行っていたと思う。

出逢った旅人の国籍は、ヨーロッパ系、特にドイツが多く、アメリカ、イギリス、イタリア、等、アジアは、中国、韓国、マレーシア、インド等々。まだ、旅をする余裕がないのか、アジア系の人達は少ない気がした。中国、インド、マレーシアからの旅人は、その国のエリート達だった。

雪が解けたら春に (Route66を夢見て)

船橋市在住 会員No. 740 渡辺 亜雄・洋子

今年の4月に「南の会」に入会させていただいた新参加者です。

MLの自己紹介でも少し触れましたので一部重複する部分もあること、またタイトルが季節外れであることご容赦ください。



「Route 66」とは米国シカゴからサンフランシスコまでの8州を結ぶ3,644Kmの国道で、米国の動脈として多くの国民に利用されてきた。世界恐慌直前の1926年完成し、第二次大戦中は軍事道路として利用され、また文豪スタインベックの「怒りの葡萄」の小説の中では、1935年大砂塵に見舞われたオクラホマ州の農民(難民)が故郷を捨てこの「Route 66」を使って西方カリフォルニアへ大移動したことから「逃亡の道(Road of Flight)」または「母なる道(Mother Road)」とも呼ばれている。1960年代に入り米国の景気は回復しモータリゼーションの幕開けとなった。その頃、日本でも同じタイトルでテレビ放映され人気を博し、主題曲”Get your kicks on Route 66”(ナットキングコールほか多数の歌手によって歌われる)も有名。ただ、今日ではその殆どがハイウェイに取って代わり廃道となっている。

「南国暮らしの会」の会報に『東』の「Route 66」なんて関係ないんじゃないの?とお思いの方もいらっしゃるでしょう。しかし、私個人にとって『南』と同じかそれ以上関係あるんです。

医学的に右脳は情緒を、左脳は理論を司るとされていますが、私のような怠け者が40年もサラリーマンをやっていると右脳を働かせる機会など殆どなく、左脳ばかりを働かせる事しかありませんでした。そんな反省から定年後は左脳を休ませ、右脳をフルに働かせよう、と思い立ったことが「Route 66」の車で

の走破であり、「南の国」でのロングステイでした。そういう意味で私達夫婦にとって両者はリタイア後の共通した目的となっています。

とくにウェスタン、ジャズ、ロック(特に私はElvis Presley気狂い)などの音楽、自由、アメリカンドリームなどアメリカへの憧れは少年時代から抱き続けてきたものでした。

(私は、天然資源に恵まれた国オーストラリアを”Lucky Country”と呼び、対してアメリカを懐かどこまでも深い国”Great Country”と名づけました)

以下は2年半ほど前、朝日新聞のコラム欄「人生わっはっは」に寄稿し、採用された私の手記です。

(2002年3月9日 朝日新聞夕刊「人生わっはっは」に掲載)

「ルート66」を夢見て

「雪が溶けたら何になる」という質問を幼児とサラリーマンにすると、大人は「水になる」と答え、子供は「春になる」と答える。

私は58歳。最近同世代の友人との飲み会ではよく定年後が話題になる。国内を車で泊まり歩いて清流釣りをしたいというもの、オーストラリアやニュージーランドの自然の中で何年かノンビリしたいと言うもの、寺めぐりをしたいという者、晴耕雨読と言う者、さまざまだ。

だが、共通しているのが何らかの形でボランテフィアにかかわりたいという点だ。

いずれにせよ、生まれてから10年ほどは雪が溶けるごとに全身で春を迎えてきたが、その後は理屈の世界。1プラス1は2から始まり、何故売れない、どうしたらもっと売れるのか、コストと売価は、利益は、客との接し方は、などなど……。

元来、人間の脳は情緒をつかさどる右脳が左脳より優勢だということから、先の「雪が溶けたら春になる」筈なのだが、理屈の世界に放り込まれると左脳ばかりを働かせる。

そこで、「……たら水になる」のだ。

さて、私もいつかは理屈の世界から解放される。本来の姿に戻るのだ。その時は30年苦勞をかけた家内と米国の大陸横断「ルート66」を車で走破するつもりだ。計画は既に完成している。あとは切符を買って出発するだけだ。若い頃夢中で見た米国の人気テレビ番組「Route66」の舞台を実際に走破するのだ。はやく左脳を休ませ、右脳を全開させ「雪が溶けたら春に」になりたいものだ。（完）

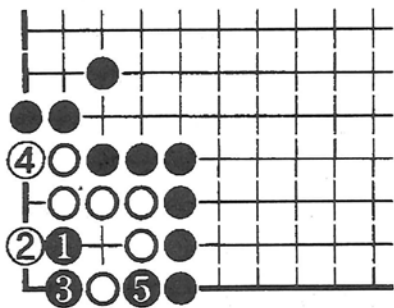


私は来年夏に62歳となり完全リタイアします。家内とまず「Route 66」を走り、そののち「南の国」の落ち着き先を模索するつもりです。「Route 66」に関心をお持ちの方とは今後メール交換させていただくか、関東近郊にお住まいの方とは、現在少人数で「Route 66の会」を持っておりますのでご出席をいただきこの話題に花を咲かせたいと思っておりますのでご連絡ください。

住所:千葉県船橋市夏見1-12-30-101
電話:047-425-3652
メール:Aowatanabe@aol.com

詰碁解答

黒先白死 黒1と急所に一撃
後は順番に黒5までです。



メールリストからのミニ情報

No.554 東海支部 笠井幸司です。

メールリストを使用しての送信についての提案です。

- 1. 件名の頭に送信者の所属支部名を記載する必要があると思います。

理由:多くの利用者は、ウイルス対策として受信トレイを自動で開かない処置(ウィンドウのメッセージダウンロードを「NO」に)をしているのではないかと思います。この場合、送信者と件名だけではどこの支部の用件かが不明です。

例:件名に「サロン会について」と送信されると、サロン会は各支部で開催されているため、受信トレイを見なければ自分に関係するものかどうか不明です。

- 2. 届いたメールに返事を出す、つまり「引用」を使って返事を作る場合は、受け取ったメールの全文を引用することなく(または、そのままにしておくことなく)必要ない部分を削除し、返信するメールのメインになる引用文だけを残して答えるイメージで返信することがコツだと思いますが……。

以上、いずれも数日間、都合でメールを見なかった場合、メールの整理は、大変面倒ですね、少しでも省力化したいと思います。

多すぎるメールに辟易してメールリストから外して貰いたいという要求がでてこないとも限らないと思います。

皆様からのご意見や、もっとこうすればの提案をお待ちします。



支部・部会伝達版

【関西支部】

支部長 NO.51 森川 清

「南国暮らしの会」関西支部サロン会
5月9日 於・大阪市 東淀川勤労者センター。

13:00～16:00

帰国中の大橋 績氏のペナン情報をお話頂きました。参集の支部会員26名、見学2名。途中休憩を挟み約2時間、内容の濃いお話でした。

マーケット情報、外食の適地、散歩コース、空き巣ねらいの手口、交通事故に際しての心得、ご本人の抜歯体験、等々多岐に亘り、彼の地に行けばすぐ役にたつ講演でした。

後、新しく会員になられた方々の自己紹介、質疑応答。

皆様ペナンに大いに興味を持たれた会でした。

【インターネット委員会】

NO.101 高澤 弘晃

① メーリングリストの参加者を募集します。

メーリングリストにいまだ加入されていない方でメールアドレスを持っているが会の皆様と情報交換をしたい、と思っている方メールアドレスを教えてください。

現在会員の皆さん300名ほど登録され、毎日情報交換に利用されています、更にサロン会、例会の案内等にも利用しております。メールください。

依頼アドレスは fwjc5962@nifty.com に「メーリングリスト登録希望」と書いて送ってくださいお待ちしております。

② インターネット委員会メンバー募集

インターネット委員会では「南国暮らしの会」ホームページの運営管理を行っております、特に会の情報を伝えるお手伝いをお願いできないでしょうか。地方の方で各支部情報を提供ください。メールにて情報をいただきますとホームページに掲載いたします。更に運営管理にも参加ください。

又メーリングリストの運営管理も実施しております、お手伝いください。

【関東支部】

支部長 NO.163 宮崎 哲郎

今般関東支部の役員及び地区責任者が決まりました。その目的・趣旨としては

1. 関東支部地区別会員サービスの強化・充実を図る。特にML会員以外の会員へのフォローアップの体制作り。サロン会の案内等の情報が、ML会員には即時伝達されるがその他の会員には伝達されないケースもありサービスの格差が会員間で出来るのでその改善を行う。
2. 地域割りをして将来はその地域での会合が出来ることを目指す。

【支部役員・地区責任者は別添参照願います】

【海外支部】

支部長 NO.163 宮崎 哲郎

平成16年に入り海外支部長の退会や帰国に伴い各地の支部長の交代が行われましたので報告致します。

1) 支部長の退会

1. フィリッピン・マニラ 塩見支部長殿
2. フィリッピン・セブ 鈴木支部長殿
3. タイ・バンコク 五十嵐支部長殿

以上残念ながら各氏のご事情により退会をされましたのでご報告致します。長年のお世話に感謝申し上げます。

2) 帰国に伴う支部長ご辞退

チェンマイ・鈴木 支部長殿

3) 交代が行われた新規就任の支部

1. セブ：川上支部長、鶴岡支部長代理
2. チェンマイ：伊沢支部長

現在の所マニラ・バンコクが不在となっておりますが近々ご就任頂ける様交渉中ですので少しお待ち下さい。

4) 新開設支部

フィリッピン・バギオ支部が開設、斎木さんが支部長就任。

【国内支部長会開催報告】

NO.3 池田 徳三郎

好天に恵まれた当日、全国7支部の支部長が、支部の組織が整備されて、初めて一同に集まり、楽しい揃い踏みが行われました。ただ残念ながら横井東海支部長様が当日、朝日新聞名古屋本社等主宰の講演会で石原ペナン副支部長と共にご講演なされ、そのため、遅れて参加されました。

日 時 平成16年5月29日 午後2時～6時

会 場 豊島区巣鴨1-15-2

アーバンハイツ2F 集会室

出席者 国内7支部長、酒匂理事長、高沢副理事長、菊地・山本・池田の各理事

内 容

1. 15年の決算報告、16年度の事業計画、事業報告等

15年度決算、16年度の事業計画・予算等について資料により、総会に先立ちその概要を説明し、ご賛同を得ることができました。

2. 支部細則・支部関係資料の説明

資料(国内支部長会・関係資料保存版P15, A4版)により、支部細則、支部委員会内規、支部依頼文書類、その他について説明をし、支部の協力を再要請し、質疑・ご意見等の後、再度ご賛同を得ることができました。

3. 「関西支部の会計報告」事例報告

森川支部長から15年度の会計報告、金銭出納等に関し、関西支部の事例報告があり、同資料が支部長に回覧されました。

4. 入退会者のシステムについて

休退会の届け出は支部長経由とする旨の細則の改正案に関し説明しました。同提案に一部疑義の意見もありましたが、大方の支部長のご賛同を得、細則の改定を理事会で検討することになりました。なお、会員担当理事は会計年度末に会員の会費の納入状況を閉め、できる限り早く支部ごとの名簿(年度会費未納者)を制作して、各支部長に送付する。未納者の対応は支部長に一任することになりました。

5. 各支部の近状報告の要趣

出席支部長から次のとおり、支部の報告があ

りました。

・稲延九州支部長

九州は広領域にわり、そのため支部会等の催しを開催しても、出席は博多周辺の会員に限られる。また、良い講師を呼ぶのに苦勞している。新聞社との提携も今後の課題です。連絡網の整備は早く実施したい。年3回の催しを計画中です。

・森川関西支部長

支部長会で色々な話を聞き大変参考になった。今後とも支部の組織的活動を活発にする方法を皆で考え、支部会員の相互の親睦・交流のために役立てたい。

・横井東海支部長

朝日新聞社主宰の講演会が盛会裏に終わり、その内容を報告後、現在支部会員74名、内役員10名、5つの地区長等9名、計19名で組織的支部活を実施している。

チェンマイ体験ツアー、定例会年4回、サロン会6回、タイ語セミナー3回、役員会を開催。

16年度もほぼ同じ計画で実施する。

・宮寄関東支部長

総会員の半数近くを占める関東支部は支部総会を開催し、支部役員の構成を整え、PCのない人のため10地区に分け、責任者を置き、連絡網を整備し、地区毎の会合も視野に入れ、今後一層蜜な交流と親睦を深めて行きたい。15年度の「サロン会」等の各種催しは15回を開催、今年は「囲碁の会」、「英会話セミナー」の開催を予定し、会員相互の一層の懇親。親睦を深めたい。

・宮沢甲信越支部長

年1回の総会は温泉旅行を兼ねて実施しているが、長野・山梨・新潟・富山の四県は交通の不便から、19名中、限られた会員のみが集まることになる。支部総会の開催がやつとの現状である。地域の特性を顧慮して欲しい。

・和田東北支部長

昨年10月に設立総会を開いたばかりで、東北6県で、10名余の会員数、これからです。関東のサロンの会等にできるだけ参加して今後の参考にしたい。

・工藤北海道支部長

昨年10月設立総会を開催。会員数25名で、各種の催し、役員会の会合も地域が広く交通も不便ですが、楽しい催しを年3回位計画中です。講師の方が来道して海外現地の講演等魅力ある会合ができればと希望する。

6. その他の発言

・会の名称について、

ある支部では、なかなか会員が増えない、その原因は会の名称にあるのではないか、2. 3の案があるとの発言があった。この発言に関し、次の説明がなされた。

現在会の商標登録も申請中で、「南国暮らしの会」の名称に惹かれて入会している方が現会員である。変更する必要は現時点では考えられない。また

・法と定款の関係について

一部では余り会員を増やさず、こじんまりと心の通った会を維持したいと言う声もある。会員数の増減課題は別として、特定非営利活動推進法は、「NPO法人が、社会的貢献活動をし、公益の増進に寄与する。」ことを期待し、法人格が認証されている。当会の定款はこれを受け、ボランティア精神で南の国々の情報を会員及び広く国民に普及する等の事項が明記されている。

会で蓄積した情報等は会員のみではなく、広く日本の国民に普及するのが、会員及び役員の務めではないだろうか。との趣旨の発言があった。

7. 5周年記念事業に関する説明と協力、要請について

【以下省略】

懇親会 午後6時30分～10時10分

時のたつのも忘れ、盛り上がり、その他の情報交換、親睦の実を得ました。(了)

【九州支部】

支部長 NO.128 稲延 豁

2004年度(H16年度)第2回九州支部総会

日時 H16年6月6日(日曜) 16:00～18:00

場所 福岡市NP0ボランティア交流センター
(福岡市立青年センター5F)

司会 竹村副支部長

出席者 九州支部 17名中 10名様出席

(1)議代

(イ)支部長挨拶と東京総会報告

(ロ)出席者全員の自己紹介と旅行実績

(ハ)支部役員選任と認名

(ニ)情報交換発表～652号深松幸康さん「フィリピン・バギオ・セブ・マニラ」紀行報告

(ホ)今年度支部旅行計画

(2)懇親会

(イ)場所 Enjoy!「天狗」(テンアライド株)

(天神日生ビル店)

(ロ)時間 18:20～20:30

(ハ)出席者 7名(10名中)

※上記議代及び懇親会項目毎に解説

(イ)支部長より東京総会の素晴らしさと、大まかな予算、決算、役員選任と交替、特に前理事長池田さんの5年に渡る労苦と、引退後の会長職。新任は前副理事長の酒匂さんの承認。本年11月施行の5周年イベントの提案に熊本の朝永さんがクルージングを要望された。

(ロ)

(A)今年5月に停年になったので色々な所に行っ見たい。

(B)今迄パック旅行ばかりだったので今後はロングステイと言う形で行って見たい。

(C)女房がアジアを嫌っているが、自分としてはフィリピンかチェンマイに行って見たい

(D)自分はバギオ生まれ育ちでフィリピンが好き、近い内にスービックに行く積もり。

(E)フランス、ベルギーなどヨーロッパ旅行には何度も行っているが、ロングステイの経験が無い。仕事は若者にゆづったので、今度は日本が暑いとき寒いときに避暑、避寒を兼ねて外国にロングステイして見たい。

(F)ロングステイの経験無いが、パック旅行でない旅行に行って見たいが、女房がアジアを嫌っているなので、その説得が一番の問題。

(G)7月に仕事をリタイヤーするが、あちこちに行って見たい。でも主人が現役である為、

少し嫌がっているのが気掛かり。

(ハ)役員選任と認名の項

気掛かりの役員認名。こちらが思い患らう程心配は全く不要だった。誠意を尽くしてお願いすれば、九州の皆さんは全員本当に協力的だった。

1. 支部長、副支部長は前会に同じ

2. 新任

会計 652号 深松幸康さん(福岡)
会計監査 581号 朝永美代子さん(熊本)
支部委員 547号 山本昌章さん(福岡、再入会者)
人形 219号 村上吉則さん(熊本)
131号 村岡幸人さん(佐賀)

(ニ)情報交換発表の項

発表者 652号 深松幸康さん。今年4月のフィリピン旅行(バギオ、セブ、マニラ)。現地支部長さんやその他の方に大変お世話になって、とても楽しい旅が出来た。特にバギオはアジアにありながら避暑地として最適。詳しくは夏の会報に報告しているので見て欲しい。

(ホ)本年度支部旅行計画の項

フィリピンのスービック米海軍基地跡に造られた「スービック・パラダイス・ビレッジ」に是非行って見たいという会員の強い希望があるので、機会を見て希望者だけでも行って見たい。

寄 付 金

理事長 酒匂 景輝

H16/5 No. 427 小川 政子様 ¥20,000-

〈ご子息からのバースデープレゼントを〉

H16/6 No. 801 嶋田 栄一様 ¥4,000-

〈ご入会に際し〉

本法人では現在収益事業は行っていませんので、会員の拠出会費と寄付金は収入源です。

近年皆様に浸透し寄付金も拠出して頂けるようになりました。皆様方のご芳志が組織の有効なボランティア活動の礎になりますよう心掛けます。誠に有難うございました。

総会に出席した役員の方皆さん



市東理事
大野理事
高田理事
細田理事
山田理事
酒匂理事長
菊地理事
池田会長
龍野理事
宮寄副理事長
島田理事
高澤副理事長
山本理事
平尾理事

編集後記

- ◇ 夏季号は平成16年度総会で承認された報告事項があります。重要なものばかりですのでご一読下さい。
会員からの寄稿では海外での貴重な治療体験が皆様の参考になることと思います。
- ◇ 北海道登別市のNo.625 工藤俊一さんが編集委員に加わって下さいました。
ワープロで打った原稿→工藤さんに送る→OCRで読み取る→メールで送ってもらうという方法で協力して頂きました。遠隔地でも会報作成に協力出来ることが実証されました。
- ◇ 会報作成に協力して頂ける方を募集しています。このように遠隔地の方でも様々な方法で参加出来ると思います。
- ◇ 去る4月24に行われた春季号の発送作業には次の方々に協力して頂きました。
ありがとうございました。(敬称略)
加藤寿美子 大野悦子 岩瀬光子 岡野征夫 川崎勇・千恵
有馬百合子 山田宏秀 伊藤寛 深見正勝(チェンマイから帰国時に)
- ◇ 次回「秋季号」は10月発行です。よって原稿の締め切りは8月20日が目安です。

〈窓口〉平尾 守満 TEL 0426-26-3665
E-mail: hirao.morimitsu@nifty.com
細田 良子 TEL 045-832-5615
E-mail: r.hosoda@jb3.so-net.ne.jp
島田 栄一 TEL 042-365-5287
E-mail: sa.eiichi@r3.dion.ne.jp
龍野 宏 TEL 048-781-4929
E-mail: hiro.tatsuno@nifty.ne.jp

記事の無断転載、複製を禁じます。

発行者 特定非営利活動法人(NPO法人)
「南国暮らしの会」

理事長 酒匂 景輝

〒140-0002 東京都品川区東品川3-22-20-1208

TEL 03-3472-9916 FAX 03-3472-9954

NANGOKUNANGOKUNANGOKU



NANGOKUNANGOKUNANGOKU